

指 導 計 画

令和 6 年度

北区保育・子育て支援センター

目 次

1	センターの状況	
(1)	地域の状況	
(2)	子どもの状況	
(3)	保護者の状況	
2	センターの目標	
3	年間指導計画	
(1)	保育の年間指導計画	
①	期のとらえ	
②	各歳児 年間指導計画	別紙 1
	異年齢 年間指導計画	
(2)	食育年間計画	別紙 2
(3)	年間保健計画	別紙 3
4	障がい児保育について	
5	長時間にわたる保育について	
6	健康及び安全管理について	
7	保護者に対する支援について	
8	小学校との連携について	
9	地域との連携について	
10	評価・改善について	
11	研修について	
12	保育の形態及びクラス編成について	
13	子育て支援事業計画	別紙 4

1 センターの状況

平成 24 年 4 月 1 日札幌市では 7 区目である、北区保育・子育て支援センターとして開園する。(札幌市若草保育園と札幌市北乳児保育園が移転統合)

(1) 地域の状況

- ・地下鉄南北線、北 24 条駅から徒歩 3 分のところに位置し、バスターミナルや飲食店など、商業地域に近接した住宅地にある。14 階建て市営住宅（幌北団地 2 号棟）の 1、2 階にあり、地域の方の期待や関心が高い。
- ・歴史のある地域で、高齢者世帯が多い反面、利便性がよいことから、道内外からの子育て家庭の転入も多い。

(2) 子どもの状況

- ・明るく素直で人懐っこい子どもが多い。
- ・好奇心が旺盛で、いろいろなことに興味、関心をもてる。
- ・家族以外の人や、自然と関わる経験が少なくなっている。
- ・自分の思いを表現することが苦手で、他者との関わりがうまくもてない子もいる。
- ・生活スタイルが大人中心になり、生活リズムが不規則な子もみられる。
- ・長時間保育の子が多い。

(3) 保護者の状況

- ・核家族で父母が協力し合って子育てしている家庭が多い。また、祖父母が送迎だけではなく子育てに参加、協力している家庭も多くみられる。
- ・就労形態や子育てに対する考え方が多様化してきている。

2 センターの目標

安心、安全で笑顔があふれるセンター

健康で丈夫な体をつくる

- ・規則正しい生活のリズムを身に付ける
- ・進んで戸外で遊ぶ ・体を動かす心地よさを感じる
- ・空腹感を感じ、楽しく食べる ・生活に必要な習慣を身に付ける
- ・自分の体に関心をもち、大切にしようとする

自己を発揮し、 いきいきと遊び、生活する

- ・自分の気持ちや欲求を素直に表す ・自分で考え進んで行動する
- ・自ら興味や関心をもって環境に関わる
- ・楽しく生活するための決まりの大切さが分かり、守ろうとする
- ・友達と互いに認め合いながら、遊びや生活を進める

人との関わりを大切に 豊かな心情を育む

- ・周囲の大人から見守られているという安心感をもつ
- ・友達の思いに気付く ・友達と思いを伝え合う
- ・自然との関わりを通して、心を動かし、好奇心をもつ
- ・地域や様々な人との交流の中で、親しみをもったり、認められたりすることに喜びを感じる
- ・五感を通して感じたことを、共有し伝え合う

3 年間指導計画

年間指導計画は、全体的な計画に基づいて、子どもの生活や発達を長期的に見通しながら、具体的な保育内容や方法を示すものである。

一人一人の主体性を尊重し、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図りつつ、生活や遊びを通して乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられるよう、養護と教育を一体的に展開する。

(1) 保育の年間指導計画

① 期のとらえ

子どもの育ちや発達の状況が大きく変化すると思われる時期を考え「期」を設定し、子どもの興味・関心の傾向、園生活の実態、季節の変化などから4期とした。

・1期4月～5月、2期6月～9月、3期10月～12月、4期1月～3月

②各歳児の年間指導計画（別紙1参照）

異年齢の年間指導計画

(2) 食育年間計画（別紙2参照）

(3) 年間保健計画（別紙3参照）

4 障がいのある子どもの保育

- ・個別の支援を必要とする子どもの保育にあたっては、一人一人に応じた関わりと集団の中の一員としての関わりの両面を大事にする。
- ・発達の過程や障がいの状態を把握し、適切な支援を受けながら安心して生活する中で、共に育ち合えるよう保育する。
- ・職員間及び家庭との連携を密にし、子どもの理解を深め合い適切な支援につなげる。
- ・個別の支援計画を作成し、関係機関と連携のもと、就学まで一貫した支援ができるよう努める。

5 長時間にわたる保育について

- ・子どもの1日の生活の流れを見通し、家庭的でゆったりとくつろげる環境を工夫する。
- ・発達の過程や心身の状態を把握し、落ち着いて負担なく過ごせるようにする。
- ・子どもの様子を伝え合い、保護者が安心できるよう努める。

6 健康及び安全管理について

- ・一人一人の子どもが充実した園生活を送れるよう、保護者と連携を取りながら、子どもの健康及び安全の確保に努めるとともに、子どもが自らの体や健康に関心を持ち、心身の機能を高めていくことを大切にする。
- ・一人一人の子どもの心身の健康状態を把握し、指導計画に基づいた体づくりに努め

る。

- ・保健計画に基づき、看護師が中心となって、嘱託医と連携を取りながら、感染予防や施設の衛生管理を行う。
- ・事故防止及び安全対策のため、施設内外の危険か所の点検及び避難訓練を実施し、職員の危機管理に対する意識向上を図り、不測の事態に備えた体制づくりを行う。
- ・食育計画に基づき、子どもが自らの感覚やいろいろな体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう関わる。
- ・栄養士や看護師による専門的な相談や指導を行う。
- ・虐待の予防や早期発見に努める。

7 保護者に対する支援について

- ・一人一人の保護者の思いを受け止め、寄り添い、信頼関係を築いていく。
- ・保育の内容を伝えたり、子どもの姿を伝え合ったりする機会を多くもち、保護者との相互理解を深め、共に子どもの成長を支えていく。
- ・子育てに関する情報を、お便りや掲示物、その他機会を捉えて提供していく。

8 小学校との連携

- ・乳幼児期の育ちが、小学校以降の生活や学びへとつながっていくことを踏まえ、保育の中で創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎が培われるよう、毎日の生活や遊びを充実させる。
- ・子どもが小学校生活に期待感をもてるよう、また、入学後子どもが生き生きと自分を発揮できるよう、小学校行事への参加や児童との交流を図る。
- ・子どもの育ちを支える資料として、保育園での生活を通して子どもが育ってきた過程や発達状況を記載した「札幌市保育所児童保育要録」を小学校へ送付し、一人一人の育ちをつなげる。
- ・子どもの育ちを今後の生活や学びへとつなげていくために、合同研修会の参加、地域の連絡会、就学相談などに保護者と一緒に行くなどして、情報を共有し、一人一人の育ちを共に考える。

9 地域との連携について

地域の子育て支援の拠点として

- ・地域の方々から温かく見守られる施設となるよう、積極的に情報発信をしたり、挨拶をしたりするなどの交流を大切にする。
- ・地域やボランティアの方々と積極的な交流を図り、子どもの育ちと子育てを支える。

10 評価・改善

- ・職員一人一人が自分の保育を振り返り、改善に努める。
- ・一人一人の自己評価を基に、保護者の意見なども参考にしながら、センターとしての自己評価を行い、組織力を高める。

11 研修について

- ・保育所内外の研修に積極的に参加し、必要な知識及び技術の修得に努める。
- ・職員間で共通理解を深め、日々の実践に活かすことでセンター全体の保育力を高める。
- ・研修においては、職員の意欲が向上し主体性が尊重されること、一人一人の学びの深まりにつながっていること、職員間の連携が密であること、日々の実践に生きるものであることとする。

12 保育の形態及びクラス編成について

- ・子どもの発達の特性を理解し、さまざまな年齢の子どもたちが共に生活する場という保育所の環境を生かして、年齢保育を中心に、異年齢保育も行っていく。
- ・一人一人を大切にする保育を基盤として、子どもが集団において安心して自己を発揮し、主体的に活動できるよう保育を展開する。
- ・異年齢児の交流については、子どもの年齢差に十分配慮しながら、互いに認め合い、思いやりやあこがれの気持ちが育つように、適切な環境構成や援助を行う。

乳児クラス

ひよこ組（0歳児）
うさぎ組（1歳児）

幼児年齢クラス

もも組（2歳児）
き組（3歳児）
みどり組（4歳児）
あお組（5歳児）

幼児異年齢クラス

3・4・5歳児で構成し、
年度当初の計画にそって実施する。

13 子育て支援事業計画

子育て家庭を支援し、地域で子育てを支える環境づくりを実施している。

- ・子育て支援事業計画（別紙4参照）

0歳児 指導計画

1期(4・5月)		
年間目標	・安心できる保育士等や、快適な環境のもとで、機嫌よく過ごす。 ・甘えや欲求を十分に受け止め、保育士等との信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。 ・個人差に応じて授乳を行い離乳を進めていく中で様々な食品に慣れ、食べることを楽しむ。 ・一人一人の発達に応じてはう、立つ、歩くなど体を動かす。 ・自分の意志や要求を身振りや喃語、言葉で表わそうとする。	
子どもの姿	〈おおむね3か月～5か月〉 ・授乳間隔が定まる。 ・スプーンや離乳食の味に慣れる。 ・注視、追視ができるようになり、手足を動かして楽しむ。 ・寝返りや腹ばいをして遊ぶ。 ・自ら微笑む。 ・あやされて喜ぶ。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れる。 ・保育士等との触れ合いの中で、欲求が十分に満たされ、安心して生活する。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診
○ 養護 ○ 健康やかに伸び伸びと育つ ○ 乳児期に係る3つの視点 ○ 身近な人と気持ちが通じ合う ○ 身近なものと関わり感性が育つ	内 容	環境構成及び援助
	・ 保育士等の愛情豊かな関わりの中で、生理的欲求を満たし、気持ちよく生活できるようにする。 ・ 保育士等との関わりの中で自分の思いが受け止められているという気持ちや安心感をもてるようにする。 ・ ミルクを哺乳瓶でゆっくり飲む。 ・ オムツを替えてもらい、心地よく過ごす。 ・ 安心して十分に眠る。 ・ 保育士等に見守られながら、腹ばいや寝返りを十分に行う。 ・ 保育士等にあやしてもらうことを喜び、声を出したり、活発に手足を動かしたりする。 ・ 盛んに喃語を発する。 ・ 外気浴をする。 ・ 玩具を握る、振る、口に入れるなどして感触を楽しむ。	・ 愛情豊かで適切な保育士等との関わりが、子どもの人格形成の基礎となり、情緒や言葉の発達に大きく影響することを認識し、子どもとの信頼関係を築く。 ・ 泣き声、発声、表情を丁寧に受け止め、欲求が満たされるようにしていく。 ・ 一対一の関わりの中で子どもの気持ちを受容し、共感しながら情緒の安定を図る。 ・ 母乳、ミルクの量、授乳間隔、乳首などは子どもの状態に合わせ、家庭との連携を十分に取ながら対応する。 ・ オムツ交換は優しく言葉をかけながら行い、皮膚や便の状態も観察する。 ・ 一人一人の生活リズムを大切にしながら、心地よく眠れるようにする。 ・ SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・ 寝返りしやすいよう、広めに空間をとる。腹ばいや寝返りができる音の鳴る玩具で誘ったり、声をかけたりする。 ・ 特定の保育士等との信頼関係をもとに、人との触れ合いを楽しめるようにする。 ・ 優しく話しかけたりあやしたりしながら、喃語に応答して発声を促す。 ・ 外気浴は一人一人の子どもの健康状態や生活リズムに合わせて行う。 ・ 玩具等を口に入れて確かめる時期なので、安全点検、清潔に十分配慮する。
健康及び安全	・ 一人一人の健康状態、発育、既往歴などを把握する。 ・室温、湿度の調節と換気をする。 ・ 感染予防のため、衛生、健康面に十分配慮し適正な対応をする。 ・SIDSの予防をする。 ・ 室内外の温度に合わせて衣類の調節をする。 ・股関節脱臼に気をつけてオムツ交換をする。 ・ 緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・身体測定を行う(毎月)	
地域との連携	・ 子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・ 散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・ 保護者の思いを受け止め、ともに育てるという姿勢を示し、信頼関係を築いていく。 ・ 連絡帳や送迎時の会話などで日々の様子を伝え合う。	
遊び	・ 触れ合い遊び(抱かれる、触れる、うたうなど) ・外気浴(ポーチ、園庭など) ・ 喃語への応答遊び ・わらべうた(ちょちちょちあわわ、どてかぼちゃ、ぞうきんなど) ・ 吊り玩具、ニギニギ、おきあがりこぼしなど	

0歳児 指導計画

2期(6・7・8・9月)

年間目標			・安心できる保育士等や、快適な環境のもとで、機嫌よく過ごす。 ・甘えや欲求を十分に受け止め、保育士等との信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。 ・個人差に応じて授乳を行い離乳を進めていく中で様々な食品に慣れ、食べることを楽しむ。 ・一人一人の発達に応じてはう、立つ、歩くなど体を動かす。 ・自分の意志や要求を身振りや喃語、言葉で表わそうとする。
子どもの姿			〈おおむね 6 か月～10 か月〉 ・人見知りをするようになる ・離乳食に慣れてくる。 ・座位が安定し、座ったまま両手を使って遊ぶ。 ・はいはい、つかまり立ちをするようになる。 ・反復する音の喃語を発する。 ・名前を呼ばれて反応する。
ねらい		行事	
・生活リズムを整えて、機嫌よく過ごす。 ・保育士等との関わりの中で、人との触れ合いを楽しめるようにする。 ・外気浴や散歩、水遊びを行い、健康で気持ちよく過ごす。		・七夕 ・あきまつり ・保育参観	
○健康やかに伸び伸びと育つ ○身近な人と気持ちが通じ合う ○身近なものに関わり感性が育	内 容		環境構成及び援助
	・保育士等の愛情豊かな関わりの中で、生理的欲求を満ち、気持ちよく生活できるようにする。 ・子どもの気持ちを受容し、共感しながら関わり情緒の安定を図る。 ・離乳食に慣れ、機嫌よく食事をする。 ・オムツを替えてもらい、心地よく過ごす。 ・安心して十分に眠り、機嫌よく目覚める。 ・寝返り、腹ばい、ハイハイなど、体を十分に動かして機嫌よく遊ぶ。 ・保育士等などの身近な大人に関心をもち、親しみをもって関わる。 ・特定の保育士等の顔や表情を見つめ、微笑んだり声を出したりする。 ・自分の気持ちや欲求を喃語や泣いたり笑ったりすることで表現しようとする。 ・外気浴や散歩を楽しむ。 ・保育士等と一緒に水遊びを楽しむ。 ・室内を探索しながら好きな遊びを見つける。 ・玩具を握る、振る、口に入れるなどして玩具の感触を楽しむ。		・愛情豊かで適切な保育士等との関わりが、子どもの人格形成の基礎となり、情緒や言葉の発達に大きく影響することを認識し、子どもとの信頼関係を築く。 ・保育士等との関わりの中で自分が受け入れられているという気持ちや安心感をもてるようにする。 ・離乳食は一人一人の食欲、体調、機嫌などを見ながら家庭と連携をとり、無理のない様に進める。 ・オムツ交換は優しく言葉をかけながら行い、皮膚や便の状態を観察する。 ・十分に眠ることで、食事、遊びなどの生活リズムが整えられるようにする。 ・SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・寝返り、腹ばい、ハイハイなど十分に体を動かせるよう安全で活動しやすい環境を整える。 ・特定の保育士等との信頼関係をもとに、人との触れ合いを楽しめるようにする。 ・人見知りの強い子に対しては、不安、甘えなど子どもの思いを受けとめ、安心して生活できるようにする。 ・優しく話しかけたりあやしたりしながら、発声や喃語に応答して発語を促す。 ・散歩の時には、草花、生き物、乗り物など様々なものに興味をもてるような言葉がけをする。 ・体調や皮膚の状態を把握し、安全に水遊びを楽しめるようにする。 ・探索への意欲を高めるような玩具を用意し、行きたい場所に行けるよう、安全な環境を整える。 ・握りやすい玩具や手が届く玩具を用意し、自分で取る、握る、振るなどの動きができるよう促していく。
健康及び安全		・一人一人の健康状態、発育などを把握する。 ・室温、湿度の調節と換気をする。 ・感染予防のため、衛生、健康面に十分配慮し適正な対応をする。 ・SIDSの予防をする。 ・室内外の温度に合わせ衣類の調節をするとともに十分な水分補給、休息を取る。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・水遊びのときは、健康状態や皮膚の状態を確認する。(とびひ、水いぼなど) ・身体測定を行う(毎月)	
地域との連携		・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携		・保護者との連絡を密にし、子どもの様子を伝え合う。 ・離乳食について、家庭や栄養士と連携しながら進めていく。	
遊び		・散歩(園庭や園周辺) ・寝返りや腹ばい、ハイハイなど体を動かす遊び(マット、トンネル、坂のぼり) ・布遊び(上から下から) ・わらべうた(ちょちちょちあわわ、ぞうきん、どてかぼちゃ、でこちゃんはなちゃん) ・リズムに合わせて体を動かす。 ・体操 ・絵本 ・ペープサート ・触れ合い遊び(抱かれる、うたうなど)、ニギニギ、ボールなど ・水遊び、外気浴、	

0歳児 指導計画

3期(10・11・12月)

年間目標			・安心できる保育士等や、快適な環境のもとで、機嫌よく過ごす。 ・甘えや欲求を十分に受け止め、保育士等との信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。 ・個人差に応じて授乳を行い離乳を進めていく中で様々な食品に慣れ、食べることを楽しむ。 ・一人一人の発達に応じてはう、立つ、歩くなど体を動かす。 ・自分の意志や要求を身振りや喃語、言葉で表わそうとする。
子どもの姿			〈おおむね 11 か月～1 歳 3 か月〉 ・伝い歩きが始まり、探索活動が活発になる。 ・不安定であるが歩くことができる。 ・指差しなど意思表示が見られる。 ・喃語と意味が一致してくる。 ・手づかみやスプーンを使って食べようとする。 ・コップを持って自分で飲もうとする。 ・生活リズムが整ってくる。 ・身近な遊びを模倣することができる。 ・自己主張が強くなってくる。
ねらい		行事	
・保育士等や友達と関わりながら安心して生活する。 ・好きな遊びや、探索活動を楽しんだり、体を十分に動かしたりして遊ぶ。		・総合避難訓練 ・生活発表会 ・収穫祭 ・クリスマス会	
○健やかに伸び伸びと育つ ○身近な人と気持ちが通じ合う ○身近なものと関わり感性が育つ	内 容		環境構成及び援助
	・ 保育士等の愛情豊かな関わりの中で、生理的欲求を満たし、気持ちよく生活できるようにする。 ・ 保育士等との信頼関係を深め、安心して思いが表せるようにする。 ・ 手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする。 ・ オムツを替えてもらい、心地よく過ごす。 ・ 安心して十分眠り、機嫌よく目覚める。 ・ 伝い歩く、立つ、歩くなどのそれぞれの状態に合わせた活動を十分にする。 ・ 自分の意志や欲求を喃語や身振りで伝えるなど、保育士等とのやりとりを楽しむ。 ・ 散歩や戸外遊びを通じて、秋の自然に触れ親しむ。 ・ 保育士等に見守られながら探索活動を楽しむ。 ・ 手指を使って遊ぶ。 ・ 手遊びや歌を喜んで見たり、聞いたり、リズムに合わせて手足や体を動かしたりして遊ぶ。		・ 愛情豊かで適切な保育士等との関わりが、子どもの人格形成の基礎となり、情緒や言葉の発達に大きく影響することを認識し、子どもとの信頼関係を築く。 ・ 子どもの気持ちを受容し共感しながら信頼関係を深め、安定した生活ができるようにする。 ・ 自分で食べたい気持ちを大切にし、子どもに合わせた援助をしながら、スプーンの持ち方、使い方を知らせる。 ・ 一人一人の咀嚼の様子を把握し、次の食事形態へ進めていくことができるよう援助する。 ・ オムツ交換は個人のタイミングに合わせて交換できるようにする。 ・ 日中の活動を十分楽しみ、気持ちよく眠れるようにする。 ・ SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・ 十分に体を動かせる安全で活動しやすい環境を整える。 ・ ゆっくりと優しく分かりやすい言葉で話しかけたり、発声や喃語、指差しに応答したり、やり取りを楽しめるようにする。 ・ 草花、生き物、乗り物などに興味を持って散歩を楽しめるようにする。 ・ 安全な環境を整え、探索活動を通していろいろな経験ができるように援助していく。 ・ 手や指先を使った遊びを取り入れ、楽しみながら発達を促していく。 ・ 保育士等の動作を見て模倣する喜びを味わえるようにする。
健康及び安全	・一人一人の健康状態、発育などを把握する。 ・室内外の温度に合わせ衣類の調節をする。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、水分補給の励行、室内換気を行い、乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・SIDSの予防をする。 ・身体測定を行う(毎月)		
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。		
家庭との連携	・季節に応じた衣服類(雪遊びのジャンパー類を含む)の準備を必要に応じて伝えていく。 ・懇談や連絡帳などを通して、日常の保育や子どもの様子を知らせる。		
遊び	・散歩(若草公園、ミニ大通りなど) ・はいはい、伝い歩きなど体を動かす遊び(クッション、トンネル、坂のぼり、引き玩具、ボールなど) ・わらべうた(上から下から) ・入れたり出したりする遊び(お手玉、クルクルチャイム、プレートおとしなど) ・保育士等とのやり取り遊び(ちょうだい、どうぞ、どうも) ・体操 ・絵本 ・ペープサート ・手遊び ・外気浴、		

0歳児 指導計画

4期(1・2・3月)

4期(1・2・3月)		
年間目標	・安心できる保育士等や、快適な環境のもとで、機嫌よく過ごす。 ・甘えや欲求を十分に受け止め、保育士等との信頼関係を築きながら、情緒の安定を図る。 ・個人差に応じて授乳を行い離乳を進めていく中で様々な食品に慣れ、食べることを楽しむ。 ・一人一人の発達に応じてはう、立つ、歩くなど体を動かす。 ・自分の意志や要求を身振りや喃語、言葉で表わそうとする。	
子どもの姿	〈おおむね1歳4か月～1歳6か月〉 ・しゃがんだり、立ったりできるようになる。 ・積み木など積み重ねることができる。 ・幼児食になり歯でかむ食べ方ができるようになる。 ・友達との関わりが増え、トラブルや自己主張が強くなる。 ・言葉や日常の動きを模倣して遊ぶようになる。 ・簡単な言葉を理解し、行動で表すことができる。	
ねらい		行事
・保育士等や友達と関わりながら好きな遊びを楽しむ。 ・外気に触れ雪遊びを楽しむ。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・ありがとうの会 ・進級の日
（ 養護 乳児期に係る3つの視点 ○健やかに伸び伸びと育つ ○身近な人と気持ちが通じ合う ○身近なものに関わり感性が育つ）	内 容	環境構成及び援助
	・保育士等との安定した信頼関係のもとに、安心して自分の気持ちや欲求を表せるようにする。 ・食事を喜び、手づかみやスプーンを使って自分で食べる。 ・オムツが汚れたら取り換えてもらい、きれいになった心地よさを感じる。 ・昼寝をすることがわかり、一定時間安心して眠る。 ・全身を使った遊びを楽しむ。 ・保育士等の言葉掛けを喜んだり、指差し、身振り、片言で話したりすることを楽しむ。 ・保育士等や友達に興味をもち、同じ遊びを楽しむ。 ・雪に触れ、戸外遊びを楽しむ。 ・冬の寒さに慣れ、雪遊びを楽しむ。 ・立つ、歩くなどの活動や探索活動を十分に楽しむ。 ・手指を使って遊ぶ。 ・手遊びや歌を見たり、聞いたりすることを喜び、リズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。 ・保育士等と一緒に絵本やペープサートを楽しむ。	・子どもの気持ちをしっかり受け止め、共感しながら安心感を持てるような関わりをしていく。 ・自分で食べたい気持ちを大切に、スプーンの使い方を知らせる。 ・楽しい雰囲気の中で食事をし、食材に興味をもてるようにする。 ・オムツを取り換えてもらうことの心地よさを感じられるような言葉がけをする。 ・静かな雰囲気の中で睡眠を促していく。 ・SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・全身を使った遊びを十分に経験できるように環境の設定を工夫する。 ・保育士等に見守られる中で、安心して遊びを楽しめるようにする。 ・身振りや喃語を言葉に置き換えるなど、楽しくやり取りをし、発語を促す。 ・保育士等が仲立ちとなり遊びながら、友達に興味をもてるように働きかける。 ・安全な環境の中で、雪に触れ、感触を楽しめるようにする。 ・行動範囲が広がるので、一人一人の動きを十分に把握し、安全な環境の中で伸び伸びと体を動かせるようにする。 ・手や指先を使った遊びを取り入れ、楽しみながら発達を促していく。 ・手遊び、歌、体操などは保育士等と一緒に楽しんで行い、自分なりに動いて楽しめるようにする。 ・絵本やペープサートなどは繰り返し遊び、楽しさを味わえるようにする。
健康及び安全	・一人一人の健康状態、発育などを把握する。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、水分補給の励行、室内の換気を行い、乾燥に注意する。 ・室内外の温度に合わせて衣類の調節をするとともに十分な水分補給、休息を取る。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・SIDSの予防をする。 ・雪遊びの際は遊具の点検(ソリ、スコップなど)や雪底など安全の確認をする。 ・身体測定を行う(毎月)	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。	
家庭との連携	・クラス便りや連絡帳で発達や成長の様子を伝え喜び合う。 ・進級に向け保護者の疑問や不安を受けとめ、安心できるようにしていく。	
遊び	・体を動かす遊び(マット、大型車、トンネル、坂のぼり、引き玩具、ボールなど) ・わらべうた(ちょちちょあわわ、上から下から) ・入れたり出したりする遊び(ハンカチ、お手玉、プレートおとし、クルクルチャイムなど) ・保育士等とのやり取り遊び(ちょうだい、どうぞ、どうも) ・雪遊び、外気浴 ・体操 ・絵本 ・ペープサート ・手遊び	

1 歳児 指導計画

1 期（4・5月）		
年間目標	・保育士等に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表す。 ・保育士等と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達や保育士等と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・言葉を理解し、発語への意欲をもって、簡単なやり取りを楽しむ。	
子どもの姿	・新しい環境に戸惑い不安になる子もいるが、少しずつ慣れ、安心して過ごせるようになる。 ・保育士等や環境に慣れると、好きな遊びを見つけて探索活動を楽しめるようになる。 ・歩行に対する意欲が見られ、盛んに伝い歩きをしたり、保育士等と一緒に歩いたりすることを楽しむ。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れ、安心して生活する。 ・興味のある玩具を見つけ、保育士等と一緒に楽しむ。 ・春の自然に触れ、戸外遊びを楽しむ。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診
養護 教育 （健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人の発達や健康状態の変化に合わせて適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちを受容し、共感しながら適切に関わり、安心して生活できるようにする。 ・食事を喜び、手づかみやスプーンを使い、自分で食べようとする。 ・オムツが汚れたら取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じる。 ・安心して眠る。 ・立つ、歩くなどの活動を十分に楽しむ。 ・保育士等に見守られながら、安心して玩具や身の回りのもので遊ぶ。 ・保育士等や身近な大人と関わり、親しみをもつ。 ・保育士等や友達に興味をもち、同じ遊びを楽しむ。 ・保育士等と一緒に、散歩や園庭など戸外で自然に触れて遊ぶ。 ・保育士等の話しかけを喜んだり、指差し、身振り、片言で話したりする。 ・保育士等のする手遊びや歌を見たり聞いたりすることを喜び、リズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。	・家庭との連絡を密に取りながら、子ども一人一人の発達状態、健康状態を把握する。 ・一人一人の欲求を十分に満たし、情緒の安定を図り信頼関係を築いていく。 ・保育園の食事に慣れていけるよう、必要に応じて個別に関わる。 ・楽しい雰囲気の中で食事をし、自分で食べようとする気持ちを育む。 ・オムツを替える時は子どもが不安にならないように言葉をかけながら行う。 ・一人一人の生活リズムを把握し、安心して眠れるようにしていく。 ・SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・一人一人の発達を把握し、環境を工夫して安全への配慮を十分に行う。 ・十分に体を動かして遊べるよう玩具や室内環境の点検整備を行うとともに人数に見合った玩具を用意する。 ・自分の好きな遊びを見つけられるよう、興味、関心をもてる玩具などを用意する。 ・安心できる雰囲気の中で、スキンシップをとったり遊んだりして触れ合いを楽しめるようにする。 ・保育士等が仲立ちとなり、遊びながら友達に興味がもてるように働きかけていく。 ・一人一人の発達や体調に合わせ、外気に触れたり体を動かしたりして楽しめるようにする。 ・安全、衛生面に留意しながら、自然物に触れる機会をもち、戸外で楽しく過ごせるようにする。 ・身振りや喃語を言葉に置き換えるなど、楽しくやり取りをし、発語を促す。 ・手遊び、歌、体操などは保育士等と一緒に楽しんで行い、自分なりに動いて楽しめるようにする。
健康及び安全	・一人一人の健康状態、発育、既往歴などを把握する。 ・SIDSの予防をする。 ・室内外の温度、湿度、換気に留意する。 ・感染予防のため、衛生、健康面に十分配慮し適正な対応をする。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・身体測定を行う。（毎月）	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・連絡帳や送迎時の対話、クラス懇談会などで日々の様子を伝え、保護者との信頼関係を築いていく。 ・十分に探索活動が楽しめるように、衣類、靴などの準備について丁寧に伝える。	
遊び	・散歩（園周辺、北24条第一公園） ・運動遊び（体操、マット山、トンネルくぐり、ボール、巧技台） ・室内遊び（手遊び、わらべうた遊び、歌、絵本、ペープサート、つまみ遊び、ポットン落とし、引き車、ままごと、ブロックなど） ・制作（描画、シール貼り、手形取りなど）	

1 歳児 指導計画

2 期（6・7・8・9月）		
年間目標	・保育士等に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表す。 ・保育士等と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達や保育士等と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・言葉を理解し発語への意欲をもって、簡単なやり取りを楽しむ。	
子どもの姿	・食事、睡眠、遊びのリズムが安定し、落ち着いてくる。 ・手づかみやスプーンを使って食べようとする。 ・歩行が安定し、行動範囲が広がる。 ・友達との関わりが増える中で、自己主張する姿やトラブルもある。 ・戸外で過ごすことを喜び、草花や砂、水などに触れて遊ぶ。 ・簡単な言葉が分かり、行動しようとする。	
ねらい		行事
・保育士等に親しみをもち、安心して過ごす。 ・好きな遊びを保育士等や友達と一緒に楽しむ。 ・夏の遊びを楽しむ。 ・戸外遊びを喜び、保育士等と一緒に探索活動を楽しむ。		・保育参観 ・七夕 ・あきまつり
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・気候により体調が変わりやすいので、活動と休息、水分補給などを適切に取る。 ・保育士等と安定した信頼関係を築き、安心して自分の気持ちや欲求を表せるようにする。 ・食事を喜び、手づかみやスプーンを使い自分で食べようとする。 ・畑の野菜に興味をもつ。 ・オムツが汚れたら取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じる。 ・睡眠のリズムが整い、安心して十分眠る。 ・自分の持ち物が分かり、身の回りのことに興味をもつ。 ・立つ、歩くなどの活動や探索活動を十分に楽しむ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・保育士等や友達に興味をもち、同じ遊びを楽しむ。 ・戸外遊びで、いろいろなものを見たり触れたりし、興味や関心をもつ。 ・水に慣れて、水遊びを楽しむ。 ・自分の気持ちや感じたことを片言や身振りで表現しようとする。 ・手遊びや歌を喜んで見たり、模倣したり、リズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。 ・身近な素材に触れ、手指を使って遊ぶことを楽しむ。	・一人一人の生活リズムを大切にしながら、睡眠や食事、遊び、休息などバランスの取れた生活ができるように働きかける。 ・子どもの動作や表情から思いを受け止め、信頼関係を築いていく。 ・楽しい雰囲気の中で食事をし、食材に興味をもてるようにする。 ・畑の野菜に水やりをするなどし、興味や関心を高める。 ・オムツを替える時は優しく言葉をかけながら行う。 ・一人一人の生活リズムを把握し、気持ちよく眠れるよう環境を整える。 ・SIDSのチェック表に基づいた観察を行う。 ・簡単な身の回りのことに興味をもち、してみたいと思えるような働きかけを工夫する。 ・行動範囲が広がるので、一人一人の動きを十分に把握し、安全な環境の中でのびのびと体を動かせるようにする。 ・体を動かす遊びを十分に経験できるように遊具の設定を工夫する。 ・保育士等に見守られる中で、安心して遊びを楽しめるようにする。 ・保育士等が仲立ちとなり、遊びながら友達に興味をもてるように働きかける。 ・自然物、生き物、乗り物など身近なものに触れ、興味、関心が広がっていくようにする。 ・体調に十分配慮しながら、水遊びや戸外遊びを取り入れる。 ・ゆっくりと分かりやすい言葉で話しかけ、指差しや喃語、片言を受け止め、優しく応えて、発語の意欲を育む。 ・子どもが喜ぶものを繰り返し楽しむことで、楽しさや満足感が味わえるようにする。 ・落ち着いた環境の中で、いろいろな素材に触れられるように遊び方を工夫していく。
健康及び安全	・水分補給や温度調節に留意し、適切な休息を取りながら快適に過ごせるようにする。 ・身の回りの清潔に心がけ、食べ物、遊具などの衛生管理に留意する。 ・水遊びの際は、健康状態や皮膚の状態を確認する。（とびひ、水いぼなど） ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・SIDSの予防をする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・日々の様子を伝え合い、成長の喜びを共有できる関係をつくる。 ・健康状態について細めに連絡を取り合っていく。 ・保育参観などを通して、日常の保育や子どもの様子を知らせる。	
遊び	・散歩（園周辺、北24条第一公園、若草公園） ・水遊び ・運動遊び（体操、マット山、トンネルくぐり、ボール、巧技台、リズム遊び、かけっこ） ・室内遊び（手遊び、わらべうた遊び、歌、絵本、ペープサート、つまみ遊び、ポットン落とし、引き車、ままごと、ブロック、ソフト積み木、大型車など） ・制作（描画、シール貼り、手形取り、絵具）	

1 歳児 指導計画

3 期（1 0 ・ 1 1 ・ 1 2 月）		
年間目標	・ 保育士等に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表す。 ・ 保育士等と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・ 友達や保育士等と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・ 体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ 言葉を理解し発語への意欲をもって、簡単なやり取りを楽しむ。	
子どもの姿	・ 手づかみやスプーンを使って意欲的に食べようとする。 ・ 走るなど体を動かすことを楽しむ。 ・ 自分の気持ちを言葉や動作で伝えようとする。 ・ 絵本、ペープサート、体操や手遊びなどを友達と一緒に楽しむ。	
ねらい		行事
・ 簡単な身の回りのことに興味をもち、保育士等と一緒にしてみようとする。 ・ 秋や冬の自然に触れ、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ 友達に興味、関心をもち、関わろうとする。 ・ 表現遊びを楽しむ。		・ 総合避難訓練 ・ 収穫祭 ・ 生活発表会 ・ クリスマス会
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・ 体調や気候に合わせて衣服の調節をし、一人一人の子どもが健康に過ごせるようにする。 ・ 保育士等と安定した信頼関係を深め、安心して自分の気持ちや欲求を表せるようにする。 ・ いろいろな食材に興味をもち、スプーンやフォークを使って食べようとする。 ・ オムツに排泄したことを知らせて取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じたり、保育士等と一緒にトイレに行ったりする。 ・ 昼寝をすることが分かり、一定時間安心して眠る。 ・ 保育士等に援助されながら、簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする。 ・ 体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ いろいろな遊びを通して、友達に親しみをもって関わろうとする。 ・ 戸外遊びを喜び、自然物に興味をもったり、十分に体を動かして遊んだりすることを楽しむ。 ・ 自分の気持ちや感じたことを言葉や態度などで伝えようとする。 ・ 保育士等のする手遊びや歌、絵本を喜んで見たり、模倣したり、リズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。 ・ 身近な素材に触れ、手指を十分に使って遊ぶことを楽しむ。	・ 一人一人の健康状態を十分に把握し、適切な対応ができるようにする。 ・ 子どもの気持ちをしっかり受け止め、共感しながら安心感をもてるような関わりをしていく。 ・ 楽しい雰囲気の中で食材に興味をもてるように関わり、食具の使い方を知らせていく。 ・ オムツがきれいになる心地よさを感じられるような言葉がけする。 ・ 一人一人の姿に合わせてトイレに誘い、少しずつトイレでの排泄に興味をもてるようにする。 ・ 静かな雰囲気の中で睡眠を促していく。 ・ S I D S のチェック表に基づいた観察を行う。 ・ 自分でしようとする意欲を大切にし、保育士等が援助しながら、できた時には褒めて喜びを共感する。 ・ 安全面に配慮しながら、一人一人の姿に合わせた活動が十分経験できるようにする。 ・ 保育士等が仲立ちとなり遊びながら、友達への興味を育て、やりとりを楽しめるように働きかける。 ・ 子ども同士のトラブルが多くなるので、お互いの気持ちを受容し、関わり方を知らせていく。 ・ 散歩や戸外遊びを楽しむ中で、木の実や落ち葉などを見たり、雪に触れたりしながら秋や冬の自然に興味をもてるように関わる。 ・ 一人一人の気持ちをしっかり受け止め、保育士等が共感したり励ましたりして、動作や言葉での表現につなげていく。 ・ 子どもが喜ぶ歌、手遊び、体操などを繰り返し楽しむことで満足感を味わえるようにする。 ・ 落ち着いた環境の中で、いろいろな素材に触れられるように遊び方を工夫していく。
健康及び安全	・ 薄着を心がけながら、衣類の調節をする。 ・ 冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、水分補給の励行、室内の換気を行い、乾燥に注意する。 ・ 緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応する。 ・ S I D S の予防をする。	
地域との連携	・ 子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・ 散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・ 懇談などで子どもの育ちを伝え、保護者と成長を喜び合う。 ・ 季節に応じた衣服類（雪遊びのジャンパー類含む）の準備を必要に応じて伝えていく。	
遊び	・ 散歩（園周辺、北24条第一公園、若草公園、北光緑地公園） ・ 運動遊び（体操、マット山、トンネルくぐり、ボール、巧技台、滑り台、トランポリン、かけっこ、フラフープ、リズム遊び） ・ 室内遊び（手遊び、わらべうた遊び、歌、絵本、ペープサート、引き車、ままごと、ブロック、粘土、ひも通し、ソフト積み木、お風呂ごっこ、病院ごっこ、パズル） ・ 制作（描画、シール貼り、手形取り、絵具）	

1 歳児 指導計画

4 期（1・2・3 月）		
年間目標	・保育士等に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表す。 ・保育士等と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達や保育士等と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・言葉を理解し発語への意欲をもって、簡単なやり取りを楽しむ。	
子どもの姿	・トイレで排泄することに興味をもち、排泄しようとする。 ・保育士等に援助されながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・寒さや雪にも少しずつ慣れ、遊びが楽しめるようになる。 ・友達との関わりが増えるが、物の取り扱いなどによりトラブルになることもある。	
ねらい		行事
・保育士等に援助されながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達や保育士等との関わりを楽しむ。 ・冬の遊びを楽しむ。 ・大きくなったことを喜び、進級を楽しみにする。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・ありがとうの会 ・進級の日
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・子どもの体調、室温、喚起などに気を付け、快適に生活ができるようにする。 ・保育士等と安定した信頼関係を深め、安心して自分の気持ちや欲求を表せるようにする。 ・友達と一緒に食べることを喜び、スプーンやフォークを使って意欲的に食べようとする。 ・保育士等が声がけをし見守る中で、オムツを交換したり、保育者士等と一緒にトイレに行ったりする。 ・自分からベッドに入り、一定時間安心して眠る。 ・保育士等に援助されながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・走ったり、遊具を使ったりして、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・好きな遊びを通して友達や保育士等と関わろうとする。 ・冬の自然に触れながら、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・いろいろな雪遊びをしながら、雪の感触を楽しむ。 ・自分の気持ちや感じたことを、言葉や態度で伝えようとする。 ・生活や遊びの中で、保育士等や友達との言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・描く、貼る、ちぎるなどの造形遊びや、つまむ、丸める、めくるなどの手指を使った遊びを楽しむ。 ・大きくなったことを喜び、進級を楽しみにする	・一人一人の健康状態を十分に把握し、適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止め、安心して生活できるように関わる。 ・楽しい雰囲気の中で、苦手な物も食べられるように声がけをしたり、励ましたりしていく。 ・一人一人の姿に合わせてトイレに誘い、少しずつ慣れていけるようにする。 ・静かな雰囲気の中で睡眠を促していく。 ・S I D S のチェック表に基づいた確認を行う。 ・自分でしようとする意欲を大切にし、できたときには褒めて、自信につなげていく。 ・安全面に配慮しながら、子どもが興味をもって遊べるように環境設定を工夫する。 ・子ども同士のトラブルのときは、お互いの気持ちを受容し、関わり方を知らせていく。 ・保育士等が仲立ちとなりながら、友達と関わりを楽しめるように働きかけていく。 ・一人一人の体調を把握し、身支度を整え、楽しく雪遊びができるようにする。 ・安全な環境の中で、雪に触れ、感触を楽しめるようにしていく。 ・子どもの話を優しく受けとめ、話したいという気持ちを大切に、楽しんで言葉を使うことができるように働きかけていく。 ・保育士等が気持ちを代弁し、言葉での表現を知らせながら、やり取りが広がるような関わりをしていく。 ・手遊びや歌、体操は繰り返し取り入れることで楽しい気持ちを共有できるようにしていく。 ・落ち着いた環境の中で、手指の発達を考えながら、いろいろな素材に触れられるように遊び方を工夫していく。 ・幼児クラスの部屋で遊んだり、異年齢と交流したりする中で、大きくなったことを喜び、進級に期待が持てるよう働きかける。
健康及び安全	・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、水分補給の励行、室内の換気を行い、乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応する。 ・S I D S の予防をする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。	
家庭との連携	・発達や成長の様子を伝え喜び合う。 ・クラス便りなどを通して、日常の保育や子どもの様子を知らせる。	
遊び	・雪遊び(そり、尻滑り、雪だるまづくり) ・運動遊び(体操、マット山、トンネルくぐり、ボール、巧技台、滑り台、トランポリン、かけっこ、フラフープ、リズム遊び) ・室内遊び(手遊び、わらべうた遊び、歌、絵本、ペープサート、引き車、ままごと、ブロック、ひも通し、ソフト積み木、お風呂ごっこ、病院ごっこ、お店屋さんごっこ、パズル、汽車) ・制作(描画、シール貼り、手形取り、絵具、粘土、スタンプ) ・集団遊び(おおかみさん、むつくりくまん、ストップゲーム)	

2歳児 指導計画

1期(4・5月)		
年間目標	・簡単な身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達と関わり、楽しく遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の気持ちを表現したり言葉のやり取りをしたりして楽しむ。	
子どもの姿	・新しい生活に不安を感じ、泣くことがあるが少しずつ慣れる。 ・進級したことを喜び、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等と一緒に好きな遊びをする。 ・友達と遊ぶ中で、物の取り扱いをしたり、自分の思いを通そうとしたりする。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・保育士等や友達と一緒に好きなことを見つけて遊ぶ。 ・自分の持ち物が分かり、保育士等と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診 ・保育参観
養護	内 容	環境構成及び援助
	・保育士等と親しみながら新しい環境に慣れ、安心して過ごせるようにする。 ・園生活のリズムを知り、快適かつ安全に生活ができるようにする。 ・身の回りのことを保育士等と一緒にしながら生活の流れや場所、自分の持ち物の扱い方を知る。 ・食具を使って楽しく食事をする。 ・保育士等と一緒に、オムツの着脱をしたり、トイレに行ったりする。 ・安心して入眠し、機嫌よく目覚める。 ・保育士等と一緒に簡単な身の回りのことをしようとする。 ・うがいの仕方や正しい手の洗い方を知る。 ・保育士等や友達に親しみをもち一緒に遊ぼうとする。 ・友達と手を繋いだり触れ合ったりして遊ぶことを楽しむ。 ・好きな遊びを見つけて楽しむ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 ・春の自然に興味、関心をもち見たり触れたりして楽しむ。 ・自分の気持ちや感じたことを言葉や態度で表現する。 ・生活や遊びの中で、保育士等や友達とやり取りを楽しむ。 ・興味をもった言葉を聞いたり、模倣したりする。 ・絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりする。 ・リズム遊びや体操などで体を動かして遊ぶ。 ・保育士等や友達と一緒に描いたり作ったりすることを楽しむ。	・一人一人の気持ちや要求を受け入れて信頼関係を築き、安定して生活ができるように関わる。 ・一人一人の子どもの発育、発達状態及び心身の状態を把握し、体調の変化に気付いたときは適切な対応ができるようにする。 ・保育室での過ごし方や生活の流れを知らせながら、食事、排泄、着脱、手洗い、うがいなど、一人一人に応じた援助をする。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にし、見守ったり励ましたりしながら方法を知らせ援助していく。 ・衣類ロッカーやカバン置き場などに絵やラベルなどを表示し、子どもが分かりやすいよう配慮する。 ・自分で食べる気持ちを大切にし、必要に応じて言葉をかけたり手を添えたりしながら意欲的に食べられるよう関わる。 ・一人一人の苦手な食材や食べられる量を把握し、配慮する。 ・食事中の子も食べ終えた子も落ち着いて過ごせるよう環境を整える。 ・一人一人の成長発達に合わせて、オムツを交換したり、トイレに誘ったりして安心して排泄ができるように関わる。 ・安心できる雰囲気や、静かで心地よい環境づくりを心がけていく。 ・手順や方法を知らせながら一人一人に丁寧にに関わり、自分でしようとする意欲を育てていく。 ・うがい、手の洗い方、石鹸やタオルペーパーの使い方などを具体的に知らせる。 ・保育士等が子ども同士の仲立ちとなり、関わり方を知らせていく。 ・保育士等が仲立ちとなり、友達に興味をもったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じたりできるようにする。 ・いろいろな遊びに興味をもてるよう環境設定を工夫し、落ち着いた環境と子どもの興味に合わせた遊びを用意する。 ・戸外で気持ちを発散させながら、十分体を動かして遊べるように興味をもてるような言葉をかけ、遊びに誘っていく。 ・戸外遊びなどの活動を通し、動植物を見たり触れたりする機会をもつ。 ・子どもの気持ちを十分に受け止め、保育士等や友達とのやり取りを楽しめるようにする。 ・子ども同士の関わりの中で保育士等が仲立ちとなり、必要に応じて模倣を促しながら気持ちを言葉で表せるよう伝えていく。 ・発達や季節にあった絵本や紙芝居を取り入れる。 ・興味をもてるような曲を取り入れ、友達と体を動かす楽しさを味わえるようにしていく。 ・子どもの発想を受け止め、共感しながら表現する楽しさを感じられるようにする。
健康及び安全	・子どもの健康状態及び、発達発育状況を把握する。 ・生活リズムを整える。 ・手洗い、うがいを身に付ける。 ・けが、事故を予防する。 ・室内外の遊具の点検をする。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・園での子どもの様子をできるだけ詳細に伝え、子どもや保護者が安心をもてるように家庭との連絡を密にしていく。 ・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連携を密にする。 ・日々の掲示を工夫し、保育内容を分かりやすく発信する。 ・パンツに移行に関しては、家庭との連絡を密にして進めていく。	
遊び	・散歩(園庭内) ・運動遊び(ボール、追いかっこ、体操、リズム遊び) ・室内遊び(ままごと、ブロック、粘土、ミニカー、パズル、絵本、プラレール、手遊び) ・制作(クレヨン、のり、手型) ・集団遊び(森のおおかみさん、ストップゲーム、わらべうた)	

2歳児 指導計画

2期(6・7・8・9月)

2期(6・7・8・9月)			
年間目標	・簡単な身の回りのことを自分でする。・保育士等や友達と関わり、楽しく遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の気持ちを表現したり言葉のやり取りをしたりして楽しむ。		
子どもの姿	・新しい環境に慣れて安心して過ごしている。 ・保育士等に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・身の回りのことについて、周囲の友達が褒められる姿を見て意欲的に取り組もうとする。 ・友達や保育士等と好きな遊びをする。 ・友達と遊ぶ中で、物の取り合いをしたり、自分の思いを通そうとしたりする。		
ねらい		行事	
・保育士等と一緒に、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等や友達と関わり、模倣しながら好きな遊びを楽しむ。 ・夏の遊びを楽しむ。・戸外で体を動かすことを楽しむ。		・七夕・あきまつり・保育参観	
養護	内 容	環境構成及び援助	
	・気温の変化に留意し活動と休息のバランスに配慮し、水分補給などを適切に行う。 ・保育士等との信頼関係を深め、安心して過ごせるようにする。 ・食具の使い方を知り、楽しい雰囲気の中でいろいろなものを食べてみようとする。 ・保育士等と一緒にトイレでオムツの着脱をしたり、トイレに座ったりする。 ・安心して、静かにベッドで入眠し機嫌よく目覚める。 ・保育士等と一緒に、簡単な着脱や身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等に促され、手洗いやうがいをする。 ・走る、跳ぶ、登るなど全身を使った遊びを楽しむ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 ・友達と手をつなぎ散歩を楽しむ。 ・保育士等や友達と関わったり、模倣したりしながら、好きな遊びを楽しむ。 ・身近な自然に興味・関心をもち、見たり触れたりして楽しむ。 ・保育士等や友達と水や泥などに触れ、夏の遊びを楽しむ。 ・野菜の生長を見たり、収穫したりすることを楽しむ。 ・自分の気持ちを言葉や態度で伝えようとする。 ・遊びを通して身の回りのいろいろな物の名前を覚えたり、絵本や紙芝居を見て、言葉の繰り返しや模倣を楽しんだりする。 ・保育士等や友達と一緒に歌、手遊び、リズム遊びを楽しむ。 ・いろいろな素材に触れることを楽しむ。	・体調を崩しやすい時期なので、一人一人の子どもの健康状態を十分に把握し、適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け入れて信頼関係を深め、安定して生活ができるように関わる。 ・楽しい雰囲気の中で喜んで食べ、苦手な物も少しずつ食べられるように関わっていく。 ・食事の挨拶や正しい姿勢、食具の持ち方などを、繰り返し知らせしていく。 ・一人一人の排泄状態に合わせてトイレに誘い、安心して排泄ができるように関わる。 ・安心できる雰囲気や、静かで心地よい環境づくりを心がけていく。 ・着脱や衣服の片付け方等を知らせながら、一人一人に丁寧に関わり、できた時は褒め、意欲を育てていく。 ・手の洗い方、うがいの仕方、石鹸やタオルペーパーの使い方など具体的に知らせる。 ・一人一人の身体能力を十分に把握し遊びを設定する。 ・園庭や公園での遊び方やきまりを知らせ、のびのびと体を動かせるよう遊びを設定する。 ・散歩のルールを繰り返し知らせ危険がないよう安全に十分配慮する。 ・子ども同士の関わりが持てるように保育士等が仲立ちとなり楽しく遊べるよう援助する。 ・植物や生物、野菜など自然物に触れる機会を持ち、興味・関心が広がるよう関わっていく。 ・安全に配慮しながら水や泥、砂に触れて遊べるよう遊び方を知らせる。 ・種まきや苗植えを通して、野菜や畑への興味を持てるように、保育士等と一緒に水やりをしたり、新たな発見に共感したりする。 ・子どもの気持ちを受け止め、言葉でのやり取りの仕方を伝え、友達と関わる楽しさや、言葉で表現することの楽しさをらせていく。 ・季節や子どもの興味に合わせて絵本、紙芝居を選ぶ。 ・全身を使う遊びやリズム遊びなど、体を動かす楽しさを感じられるようにする。 ・手指の発達に合った素材を用意し、触れて遊べる機会をもつ。	
教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)			
健康及び安全	・気候の変化に留意し、健康状態を把握する。・手洗い、うがいを励行する。 ・けが、事故を予防する。・休息や午睡を十分に取る。・身体測定を行う(6月) ・水遊びの際は、健康状態や皮膚の状態を確認する。(とびひ、水いぼなど) ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。		
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。		
家庭との連携	・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連携を密にする。 ・日々の様子を伝えあい、保護者との信頼関係を築いていく。 ・懇談やクラス便り、保育参観を通して、日常の保育や子どもの様子を伝えていく。		
遊び	・散歩(園庭内、園周辺、北24条第一公園)・運動遊び(ボール、追いかけて、巧技台、ケンパ、かけっこごっこ、体操、リズム遊び)・室内遊び(ままごと、ブロック、粘土、ミニカー、ひも通し、人形遊び、パズル、描画、絵本、ごっこ遊び、手遊び) ・制作(クレヨン、絵の具、のり)・集団遊び(汽車ごっこ、森のおおかみさん、むつくりくまさん、ストップゲーム、わらべうた)・感触遊び(砂、泥、寒天)		

2歳児 指導計画

3期(10・11・12月)

	・簡単な身の回りのことを自分でする。 ・生活や遊びの中で、自分の気持ちを表現したり言葉のやり取りをしたりして楽しむ。
子どもの姿	・生活の流れが分かり簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達との関わりが増え共感し合いながら遊ぶ。 ・保育士等や友達と簡単なごっこ遊びをする。 ・自分の気持ちや要求を言葉で伝えようとする姿が増える。
ねらい	
・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・秋の自然に触れながら、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・保育士等や友達と一緒に体を動かすことや表現して遊ぶことを楽しむ。	
行事	
・収穫祭 ・生活発表会 ・クリスマス会	
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容 ・体調や気候に合わせて衣服の調節をし、一人一人の子どもが健康に過ごせるようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、安心して自分の気持ちを表現しようとする。 ・楽しい雰囲気の中で食事をする。 ・正しい姿勢や食具の持ち方などを知る。 ・いろいろな食材に興味をもち食べようとする。 ・オムツが濡れたことや尿意を知らせる。 ・トイレで排泄する。 ・自分で静かに入眠しようとする。 ・保育士等に見守られながら、簡単な着脱や身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等に促されて手洗い、うがいをする。 ・全身を使って体を動かして遊ぶことや運動遊びを楽しむ。 ・ごっこ遊びや集団遊びなどを通して友達と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。 ・貸し借りや、順番に並ぶなど、簡単なルールを守ろうとする。 ・身近な自然に親しみ、探索して遊ぶ。 ・園庭遊びや近隣の散歩など、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・自分のしたいこと、して欲しいことを言葉や態度で表す。 ・友達と言葉のやり取りを楽しみ自分の気持ちを伝えようとする。 ・絵本や紙芝居を見て言葉や模倣を楽しむ。 ・保育士等や友達と、歌、リズム遊び、わらべ歌などで、表現することを楽しむ。 ・手指を使い、身近な素材を使って制作や描画を楽しむ。 ・色や形に関心を示し、いろいろな素材に触れて遊ぶ。 環境構成及び援助 ・一人一人の健康状態を十分に把握し、適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け入れて信頼関係を深め安定して生活ができるように関わる。 ・楽しい雰囲気の中で食事ができるよう配慮する。 ・正しい姿勢や食具の持ち方などを繰り返し知らせていく。 ・意欲をもって食べられるよう声をかけ、苦手なものも少しずつ食べられるよう関わりを工夫する。 ・一人一人の排泄の間隔を把握してトイレに誘い、尿意を知らせた時やトイレで排泄できた時は褒めて意欲につながるよう関わる。 ・トイレの使い方や後始末の仕方を分かりやすく知らせる。 ・安心できる雰囲気や、静かで心地よい環境づくりを心がけていく。 ・自分でしたいという意欲がわくように声かけをし、具体的なやり方を丁寧に知らせる。 ・手洗いやうがいの大切さや方法を伝え、自らできるよう、見守ったり声をかけたりしていく。 ・心身の発達とともに動きも活発になるので、安全な環境を整える。 ・保育士等が仲立ちをし、友達の気持ちに気付けるように関わり方を知らせていく。 ・ごっこ遊びや集団遊びなど、友達と関わって遊べるよう活動を設定する。 ・集団でのルールを、その都度分かりやすく知らせる。 ・安全、衛生面に留意しながら、保育士等と一緒に自然物に触れたり、十分に体を動かしたりできるようにする。 ・交通ルールや遊具の遊び方など約束事を事前に確認し、繰り返し伝え、危険のないように見守る。 ・安心して気持ちを表現できるように、保育士等が子どもの言葉を受け止めたり、思いを代弁したりしていく。 ・自分の気持ちを言葉で表現することを援助したり、保育士等が仲立ちとなり、相手の気持ちに気付いたりすることができるよう関わる。 ・言葉遊びのある絵本や紙芝居を取り入れ、いろいろな言葉で表現できるようにしていく。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、全身を使う遊びやリズム遊びを経験したりするなかで、気持ちを表現できるようにしていく。 ・手指を使った制作を取り入れ、いろいろな素材に触れる機会をつくり、自由な表現を大切にする。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・身体測定を行う(10月) ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、室内の換気を行い乾燥に注意する。
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。
家庭との連携	・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連携を密にする。 ・日々の活動や子どもの言動に関する小さな報告を心がけながら、保護者との信頼関係を深めていく。 ・保育士等と保護者との間で、子どもの成長を喜ぶ気持ちを伝え合う機会を多くもつようにする。 ・季節に応じた衣服類(雪遊びのジャンパー類を含む)の準備を必要に応じて伝えていく。
遊び	・散歩(園周辺、北24条第一公園) ・運動遊び(ボール、巧技台、ケンパ、はしご、ビーム、長縄、かけっこ、体操、リズム遊び) ・室内遊び(ままごと、ブロック、粘土、ごっこ遊び、人形遊び、パズル、描画、絵本、手遊び) ・制作(クレヨン、のり、絵の具、折り紙) ・集団遊び(しっぽとり、むつくりくまさん、ストップゲーム、わらべうた)

4期(1・2・3月)		
年間目標	・簡単な身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達と関わり、楽しく遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の気持ちを表現したり言葉のやり取りをしたりして楽しむ。	
子どもの姿	・簡単な身の回りのことが自分でできるようになる。 ・自分の気持ちや要求を言葉で表現する。 ・友達と簡単なやり取りを楽しむ姿が増える一方で、自己主張のぶつかり合いになる姿が見られる。	
ねらい		行事
・保育士等に見守られながら、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達と一緒に寒さに負けず冬の遊びを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを通して友達と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・進級することに期待をもつ。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・ありがとうの会 ・進級の日
養護	内 容	環境構成及び援助
	・子どもの体調、室温、換気などに気を付け、快適に生活ができるようにする。 ・進級に期待をもち自信をもって生活する。 ・友達と一緒に楽しく食事をする。 ・正しい姿勢や食具の持ち方などを意識する。 ・いろいろな食材を食べようとする。 ・自分で又は誘われてトイレに行き、保育士等に見守られ排泄する。 ・生活の流れを知り、身の回りのことを自分でする。 ・簡単な衣服の着脱や、冬の身支度を自分でしようとする。 ・保育士等に見守られ、手洗いうがいをする。 ・保育士等や友達と一緒に簡単なルールのある遊びや集団遊び、ごっこ遊びなどを楽しむ。 ・貸し借りや、順番に並ぶなど、簡単なルールが分かり、守ろうとする。 ・冬の自然に親しみ遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、思いや要求を言葉で表そうとしたり、言葉のやり取りを楽しんだりする。 ・絵本や紙芝居を見て、楽しむ。 ・保育士等や友達と歌、リズム遊びなどを楽しむ。 ・様々な素材を用いて、手指を使った制作を楽しむ。	・一人一人の健康状態を十分に把握し、適切な対応ができるようにする。 ・進級に向けた新しい取り組みや異年齢と関わる機会をもちながら、成長したことを喜び自信が期待につながるように関わる。 ・楽しい雰囲気食事ができるよう配慮する。 ・姿勢や食具の使い方などを繰り返し知らせ、意識できるようにする。 ・いろいろな食材を食べられるよう関わりを工夫する。 ・自分で尿意や便意を伝え、トイレで排泄できるように一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・生活の流れをわかりやすく知らせ、自分でしようとする気持ちを大切にしながら援助や声かけをしていく。 ・雪遊びなどの身支度、片付けは、子どもに合わせて丁寧に関わっていく。 ・うがいや手洗いの大切さを伝え、自ら行えるように見守り、声をかけていく。 ・友達と関わって遊べるよう活動を設定し、必要に応じて保育士等が仲立ちとなり楽しく遊べるよう配慮する。 ・遊びのルールなどを分かりやすく知らせる。 ・順番や簡単なルールが理解できるよう、繰り返し丁寧に知らせていく。 ・天候や体調を考慮しながら、思いきり体を動かしたり、雪の感触を楽しんだりできるようにする。 ・自分の思ったことや感じたことを言葉で表し、保育士等や友達とやり取りを楽しめるようにしていく。 ・年齢にあった内容のものを用意し、じっくり楽しめるようにしていく。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりしながら、楽しさを知らせていく。 ・素材を十分に用意し、作ったり描いたりすることを楽しめるようにするとともに、はさみやのりなどの用具の使い方について一人一人に分かりやすく知らせる。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、室内の換気を行い乾燥に注意する。 ・身体測定を行う。(2月)	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連携を密にする。 ・保育士等と保護者との間で、子どもの成長を喜び合う機会を多くもつようにする。 ・懇談やクラス便りなどを通して、日常の保育や子どもの様子を伝える。	
遊び	・散歩(園周辺、北24条第一公園) ・運動遊び(巧技台、ケンパ、はしご、ビーム、長縄、体操、リズム遊び) ・室内遊び(ままごと、ブロック、粘土、ごっこ遊び、人形遊び、かるた、こま、パズル、描画、絵本、手遊び) ・制作(クレヨン、絵の具、はさみ、のり、折り紙) ・集団遊び(しっぽとり、いすとりゲーム、あぶくたった、オセロゲーム、わらべうた)	

3歳児 指導計画

1期(4・5月)		
年間目標	・基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達とのやり取りを楽しんだりイメージを共有したりしながら一緒に遊ぶ。 ・思ったことや感じたことを言葉で伝えたり表現したりする。	
子どもの姿	・新しい環境に不安をもち、緊張や戸惑いも見られるが、進級したことを喜び、張り切って過ごしている。 ・自分の思いを言葉で伝えることは難しい姿もあるが、友達と関わって遊びを楽しむ姿が増える。 ・保育士等の援助を受けながら、身の回りのことを自分でしようとする。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・生活の流れを知り、保育士等の声かけにより身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達や保育士等と一緒に好きな遊びを楽しむ。		・お楽しみ会 ・保育参観 ・クラス懇談会 ・歯科健診
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人が快適に安心して生活ができるようにする。 ・新しい環境の中、安心感をもって過ごせるようにする。 ・生活の流れや安全な遊びを知り、約束事を守ろうとする。 ・食事の準備、片付けの仕方を知り、友達と一緒に食事を楽しむ。 ・十分睡眠を取る。 ・持ち物の始末、着脱など簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・自分で又は保育士等に誘われてトイレで排泄をする。 ・正しい手洗い、うがいの方法について知る。 ・十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士等や友達に親しみを持って挨拶しようとする。 ・自分で好きな遊びを選び、友達や保育士等と一緒に楽しむ。 ・友達と楽しく生活する中で、遊びや生活の決まりを知る。 ・春の自然に触れ、身近な植物や虫に関心を持つ。 ・保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・したいこと、して欲しいことを言葉で表現し、わからないことを尋ねたりする。 ・絵本や紙芝居を見て楽しむ。 ・歌を歌ったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・身近な素材に触れて描いたり、作ったりする。	・一人一人の子どもの発育、発達状態を把握し、体調の変化に気付いたときは適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止めて、保育士等との信頼関係を築き、安心して生活ができるようにする。 ・新しい環境の中で不安がないように一人一人の様子に合わせ声をかけ、生活の流れを知らせていく。また、少人数の活動を通していろいろなことを味わえるようにしていく。 ・子ども自身が安全に対して気付きをもてるように約束事などを繰り返し伝えていく。 ・スプーンとフォークの使い方やおしぼりの絞り方、食べる時の姿勢について分かりやすく知らせる。 ・静かで心地よい雰囲気の中で、安心して睡眠ができるようにする。 ・自分でしようとする気持ちを大切にしながら一人一人に合わせて繰り返し伝えていく。 ・排泄間隔を把握し、一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・個室トイレの使い方、後始末の仕方、排泄後は手を洗うことを繰り返し丁寧に伝える。 ・手洗い、うがいの正しい方法を具体的に知らせながら傍で見守り、その都度丁寧に伝えていく。 ・保育士等と一緒に遊びながら体を動かす楽しさを感じられるようにする。 ・生活の中で挨拶の習慣が身に付くよう知らせていく。 ・興味に合わせて遊びを選べる環境を整え、保育士が仲立ちとなり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・遊びの中でルールを知らせ、守ることで遊びが楽しく感じられるように関わる。 ・戸外遊びや散歩時に草花の名前などを知らせ、興味を持てるよう関わっていく。 ・必要に応じて保育士等が仲立ちとなり、互いの話に興味を持ちながら言葉のやり取りを楽しめるよう配慮する。 ・気持ちを受け止め、安心して表現できるようにするとともに伝え方、表現の仕方を知らせていく。 ・年齢にあった絵本などを用意し、じっくり楽しめるよう工夫していく。 ・保育士等も一緒に歌ったり、体を動かしたりして楽しさを知らせていく。 ・クレヨンなどで自由に描いたり、新聞紙や折り紙などで制作したり、いろいろな素材や道具を用意していく。
健康及び安全	・子どもの健康状態及び、発達発育状態を把握する。 ・生活リズムを整える。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・手洗い、うがいの習慣を身に付ける。 ・けが、事故を予防する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・一人一人の保護者の声をできるだけ受け止め、安心感が持てるように家庭との連携を密にしていく。 ・クラス懇談会やクラスだよりを通して、活動内容や日々の保育について伝えていく。	
遊び	・散歩(園周辺) ・運動遊び(リズム遊び、体操他) ・室内遊び(ままごと、粘土、ブロック、パズル他) ・制作(クレヨンでの描画、絵具(単色)) ・集団遊び(ストップゲーム、フルーツバスケット)	

2期（6・7・8・9月）		
年間目標	・基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達とのやり取りを楽しんだりイメージを共有したりしながら一緒に遊ぶ。 ・思ったことや感じたことを言葉で伝えたり表現したりする。	
子どもの姿	・新しい環境に慣れ、遊びや友達への興味関心が高まる。 ・身の回りのことを自分でしようとする子もいるが、保育士等の援助が必要な子もいる。 ・自己主張が強くなり、トラブルが多くなるが、友達同士での関わりも増え、一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 ・戸外で友達と一緒に全身を使った遊びを楽しむ。	
ねらい		行事
・基本的な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・自分の気持ちを言葉や動作で表現する。		・交通安全教室 ・運動会 ・小遠足 ・七夕 ・あきまつり
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・気温の変化に留意し、活動と休息のバランスに配慮して水分補給を促し、子どもの体調の変化に速やかに対応できるようにする。 ・一人一人の子どもの信頼関係が深まるようにする。 ・楽しい雰囲気の中で意欲的に食事をする。 ・食事のマナーや準備、片付けの仕方を知り、友達と一緒に食事を楽しむ。 ・尿意を知らせ、トイレに行って排泄する。 ・十分睡眠を取る。 ・身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育士等に見守られながら正しい手洗いうがいの方法を知り、しようとする。 ・戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 ・友達と親しみ一緒に遊んだり、一緒に活動したりする楽しさを味わう。 ・簡単なルールのある遊びや集団遊びを楽しむ。 ・友達と楽しく生活する中で順番や決まりを守ろうとする。 ・散歩に出かけ、戸外で自然に触れて遊ぶ。 ・友達と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。 ・野菜の生長を観察したり、世話をしたりすることを通して、収穫に期待をもつ。 ・自分のしたいことや気持ちを言葉で伝える。 ・保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを見ることを楽しむ。 ・歌を歌ったり、体を動かしたりして楽しむ。 ・様々な素材に触れ、簡単な制作を楽しむ。	・一人一人の子どもの発育、発達状態を把握し、体調の変化に気付いたときは適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止めて、保育士等との信頼関係を深め安定した生活が送れるようにする。 ・意欲的に食べようとする姿を認め、苦手な物を少しずつ食べることができるよう関わる。 ・スプーンとフォークの持ち方やおしぼりの絞り方、食べる時の姿勢について丁寧に知らせていく。 ・自分で尿意を伝え、トイレで排泄できるように一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・気温、換気などに気を付けて、静かで心地よい雰囲気の中で、安心して睡眠し十分な休息が取れるようにする。 ・自分でしようとする気持ちを大切にしながら一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・手洗い、うがいの大切さや方法を伝え、自らできるよう見守ったり声をかけたりする。 ・園庭や公園での遊び方や決まりを知らせ、安全に留意し、のびのびと体を動かせるよう設定する。 ・友達や保育士等と楽しく関わり合って遊べるような活動に誘っていく。 ・ルールを分かりやすく知らせて、みんなで遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。 ・遊びの中でルールを知らせ、ルールを守って楽しく遊べるよう関わる。 ・交通ルールや道路の歩き方を繰り返し知らせていく。また、危険の無いように見守りながら、自然に触れて遊ぶことを楽しめるようにする。 ・水遊びの安全な遊び方を知らせ、手足でいろいろな素材に触れる楽しさを味わえるようにする。 ・作物の水やり等の世話を通して、野菜の生長を喜び、収穫に期待をもてるように関わる。 ・子どもの気持ちを受け止め、安心して自分の気持ちを表現できるようにする。 ・必要に応じて保育士等が仲立ちとなり、互いの話に興味を持ちながら言葉のやり取りを楽しめるよう配慮する。 ・年齢にあった絵本などを用意し、絵本の中にでてきた会話も楽しめるよう工夫する。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして楽しさを味わえるように関わる。 ・季節に合わせた制作を取り入れるとともにクレヨン、のり、絵の具など制作道具の使い方を丁寧に知らせていく。
健康及び安全	・気候の変化に留意し、子どもの健康状態及び発達状態を把握する。 ・身体測定を行う。(6月) ・水遊びの際は、健康状態や皮膚の状態を確認する。(とびひ、水いぼなど) ・手洗い、うがいの習慣を身に付ける。 ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連絡を密にする。 ・日々の様子を伝えていくとともに家での様子を聞き、子どもの姿を共有し合う。 ・水遊びの準備について説明する。	
遊び	・散歩(北24条第一公園など) ・水遊び ・運動遊び(リズム遊び、体操他) ・室内遊び(ままごと、ブロック、描画、カプラ、粘土、パズル、積み木、ひも通し他) ・制作(クレヨンでの描画、折り紙、のり、絵具) ・集団遊び(ストップゲーム、フルーツバスケット)	

3歳児 指導計画

3期(10・11・12月)

年間目標		・基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達とのやり取りを楽しんだりイメージを共有したりしながら一緒に遊ぶ。 ・思ったことや感じたことを言葉で伝えたり表現したりする。
子どもの姿		・身の回りのことを、自分でできる子が増える。 ・友達や保育士等に自分の気持ちを言葉で伝えようとする姿が増える。 ・友達と遊ぶ中で、イメージを表現し、会話を楽しむ。
ねらい		行事
・基本的な身の回りのことを自分でする。 ・秋の自然に触れながら、友達と遊ぶ。 ・自分の気持ちを言葉で表現し、やりとりを通して相手の思いを知ろうとする。		・総合避難訓練 ・収穫祭 ・生活発表会 ・バス遠足 ・クリスマス会
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・気温差や一人一人の子どもの体調に気を付け、健康に過ごせるようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるようにする。 ・食事のマナーや準備、片付けの仕方を身に付け、友達と楽しく食事をする。 ・尿意や便意を知らせ、トイレに行って排泄する。 ・十分睡眠を取る。 ・持ち物の始末、着替えなどを保育士等に見守られながら自分でする。 ・保育士等に見守られながら正しい手洗いうがいをする。 ・運動遊びを楽しみながら、体の使い方を知り安全に遊ぶ。 ・簡単なルールのある遊びや集団遊びを楽しむ。 ・戸外で十分に体を動かしてのびのびと遊ぶ。 ・秋の自然に興味をもち、自然物に触れたり遊んだりする。 ・友達と一緒に共通したイメージや、思いをもって遊ぶ。 ・友達と関わりながら自分の思いや要求を言葉で伝え、相手の思いを知ろうとする。 ・保育士等や友達と一緒に、言葉のやり取りを楽しむ。 ・生活や遊びの中で、身の回りの物の色、数、量、形などに興味をもつ。 ・絵本、紙芝居などの内容が分かり、イメージを膨らませながら楽しむ。 ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて踊ったりすることを喜ぶ。 ・様々な素材に触れ、描いたり作ったりすることを楽しむ。	・気温の差が大きいので、日々の健康状態を十分把握し体調の変化に気付いた時は適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止めて、安定した生活が送れるようにする。 ・正しい姿勢や食器の持ち方、食具の並べ方など自分で気付いていけるように言葉がけをする。 ・自分で尿意や便意を伝え、トイレで排泄できるように一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・室温や湿度を調整し、安心して十分な睡眠が取れるようにする。 ・持ち物の始末や着替えなどの仕方を知らせ、身の回りのことを自分でできるように声をかけ、必要に応じて援助する。 ・手洗いうがいの大切さや方法を伝え、自ら進んで行えるよう見守ったり声をかけたりしていく。 ・発達に合わせた運動遊びを設定し、いろいろな体の動かし方を経験できるよう関わる。また、危険なことに自分で気付けるよう知らせていく。 ・遊びの中でルールを知らせながら保育士等が仲立ちとなって一緒にいき、友達と関わって遊ぶことの楽しさを味わえるようにする。 ・公園や園庭の危険な場所や遊具の使い方を繰り返し伝え、一人一人が決まりを守って安全に遊べるよう働きかける。散歩時は交通ルールや安全な歩き方を繰り返し知らせていく。 ・秋の自然に触れたり気付いたりすることができるような言葉掛けを行い、発見や感動を共有する。 ・共通のイメージをふくらませて、友達と好きな遊びを楽しめるように、環境を整えたり、保育士等が仲立ちとなったりして遊びを広げていく。 ・友達の話やゆっくり話を聞いたり、共感あったりする時間を大切にしていく。 ・友達に自分の考えや思いを伝えようとする姿を見守り、必要に応じて伝え方を知らせていく。 ・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、保育士等や友達とやり取りを楽しめるようにしていく。 ・子どもの発達や季節に合わせた内容のものを取り入れ、興味をもって楽しめるよう関わる。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして、楽しさを知らせていく。 ・興味をもてるような素材を用意し、クレヨン、絵の具、ハサミ、のりなどの制作道具の使い方を丁寧に知らせていく。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・身体測定を行う。(10月) ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。 ・けが、事故を予防する。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、うがい、室内の換気を行い乾燥に注意する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・体調や天候に合わせて調整しやすい衣類を用意してもらうように伝える。 ・行事に向けての活動を通し、子どもの様子や成長について伝え合う。	
遊び	・散歩(若草公園、メイプル公園など) ・運動遊び(リズム遊び、体操他) ・室内遊び(ブロック、パズル、ままごと、カルタ、積み木他) ・制作(描画、折り紙、のり、はさみ、絵具) ・集団遊び(ストップゲーム、フルーツバスケット、椅子取りゲーム)	

4期(1・2・3月)

年間目標		・基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等や友達とのやり取りを楽しんだりイメージを共有したりしながら一緒に遊ぶ。 ・思ったことや感じたことを言葉で伝えたり表現したりする。
子どもの姿		・身の回りのことが自分でできるようになる。 ・自分の思いや考えを通そうとして、気持ちがぶつかり合う姿もあるが、相手の気持ちに少しずつ気付けるようになる。 ・友達との会話を楽しみながら一緒に遊ぶ。 ・年上の友達への憧れの気持ちを抱き、進級することに期待をもつ。
ねらい		行事
・身の回りのことを自分でする。 ・友達とやり取りをしながら、冬の遊びを楽しむ。 ・自分の思いや経験したことを伝えたり、友達とイメージを共有したりして一緒に遊ぶ。 ・進級することに期待をもつ。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・ありがとうの会 ・進級の日
養護	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人の子どもの健康状態を把握し、意欲的に活動ができるようにする。 ・一人一人の成長を認めながら、安定した生活ができるようにする。 ・マナーを守ろうとしながら、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をする。 ・尿意や便意を知らせ、トイレに行って排泄する。 ・持ち物の始末や着替えなど、身の回りのことを自分でする。 ・保育士等に見守られながら正しい手洗い、うがいをする。 ・戸外で十分に体を動かして冬の遊びを楽しむ。 ・身近な自然の変化に興味をもち、自然物に触れたり遊んだりする。 ・保育士等や友達と一緒に共通のイメージをもって遊びを楽しむ。 ・自分で好きな遊びを選び、自分なりに工夫して楽しむ。 ・ルールのある遊びや集団遊びを楽しむ。 ・進級することに期待をもって活動する。 ・自分の思ったことや感じたことを言葉で伝え、やり取りを楽しみながら友達の思いを知る。 ・保育士等や友達と一緒にイメージをもって、ごっこ遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で、身の回りの物の色、数、量、形などに興味をもち、違いに気付く。 ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて踊ったりして楽しむ。 ・いろいろな素材や道具を使って、自由に描いたり、作ったりすることを楽しむ。	・気温の変化が大きいので、日々の健康状態を十分把握し体調の変化に気付いたときは、適切な対応ができるようにする。 ・寒さや活動状況に応じて、室温や換気、保湿、衣類の調節に気を付ける。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止めながら安定した生活が送れるようにする。 ・正しい姿勢や食器の持ち方、食具の並べ方など、身に付くよう援助していく。 ・自分で尿意や便意を伝え、トイレで排泄できるように一人一人の状況に合わせて援助していく。 ・身の回りのことを子どもたちが進んで行えるように、大切さを知らせたり、励ましたりしていく。 ・手洗い、うがいの大切さを伝え、進んで行えるようにする。 ・身支度の仕方を知らせ、自分でできるように援助していく。 ・雪質に配慮し、雪中での遊び方を知らせながら、全身を使って遊べるようにする。 ・日常の中で自然環境に触れたり、気付いたりすることができるような言葉がけを行い、発見や感動を共有する。 ・友達と協力しながら遊びを展開する楽しさや共通のイメージをもって楽しめるよう配慮する。 ・子どもが主体となって遊びが広がるよう興味に合わせた環境作りをする。 ・ルールのある遊びや集団遊びを通して決まりの大切さを知らせながら、友達と遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・成長を具体的にイメージできるように話したり、みんなで喜び合ったりし、進級に期待をもてるようにする。 ・子どもの気持ちや言葉を受け止めながら、落ち着いて話を聞いたり、共感したりする。 ・イメージを膨らませることができるような環境設定や言葉がけをし、保育士等が仲立ちとなって遊びを広げていく。 ・身近な遊びや絵本、紙芝居の中で興味をもてるように関わる。 ・保育士等や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして様々な表現遊びを楽しめるようにする。 ・いろいろな制作遊びの素材を用意し、楽しんで作ったり遊んだりできるようにする。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・身体測定を行う。(2月) ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、室内の換気を行い乾燥に注意する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・発達や成長の様子を伝え合い、進級への期待や喜びを分かち合う。 ・懇談やクラス便りなどを通して、日常の保育や子どもの様子を伝えていく。	
遊び	・散歩(北24条第一公園、若草公園での雪遊び) ・雪遊び ・運動遊び(マット、ボール、長縄、鉄棒他) ・室内遊び(ままごと、ブロック、パズル、粘土、カルタ、絵合わせ、積み木他) ・制作(描画、折り紙、のり、はさみ、絵具) ・集団遊び(じゃんけん列車、フルーツバスケット、転がしドッジボール、もうじゅうがり)	

4 歳児 指導計画

1 期（4・5月）		
年間目標	・健康、安全などの生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・相手の気持ちを考えたり自分の思いを伝えたりして、友達との関わりを深める。 ・いろいろな活動を通して自然など、身近な環境に関わり、興味をもって遊ぶ。	
子どもの姿	・生活の流れを理解し、基本的な身の回りのことを自分でしようとする。 ・自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。 ・進級したことを喜び、新しい環境に興味をもって過ごす。	
ねらい		行事
・生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でする。 ・友達と一緒にイメージを共有しながら好きな遊びを楽しむ。 ・新しい環境の中で、友達や保育士等に親しみをもち、安心して過ごす。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診 ・保育参加
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人の健康状態を把握し、安全で快適な生活ができるようにする。 ・一人一人の気持ちを温かく受け止め、安心して過ごせるようにする。 ・生活の仕方が分かり、食事、排泄、着脱など自分でできることは、進んでする。 ・持ち物の始末の仕方が分かり、自分でする。 ・手洗いうがいをしようとする。 ・戸外やホールで十分に体を動かして遊ぶ。 ・保育士等や友達に親しみをもち、一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・春の自然に触れたり、見たりして興味をもつ。 ・遊具や用具の使い方を知る。 ・進級したことを喜び、意欲的に活動する。 ・自分の気持ちや要求を保育士等や友達に言葉で伝える。 ・保育士等や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居などを見たり聞いたりして楽しむ。 ・歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・いろいろな素材を使って簡単な造形遊びを楽しむ。	・一人一人の健康状態を把握し、適切に対応できるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止め、共感しながら信頼関係を築いていく。 ・自分でできたところを認め、自信につながるような言葉かけをする。 ・身の回りのことは、一人一人の状況にあわせ、必要に応じて援助をしていく。 ・個々に合わせた声かけをし、自分で持ち物の始末を行うことができるように援助する。 ・手洗いうがいの仕方を繰り返し知らせていく。 ・天候や体調に合わせて、戸外やホールの遊びを取り入れ、十分に体を動かせるようにしていく。 ・子どもの興味・関心に合わせた玩具や環境を設定し、好きな遊びを楽しめるようにしていく。 ・絵本などを通して季節の変化を子どもたちと一緒に共感できるようにしていく。 ・戸外活動を通して草花や虫などに触れる機会をもてるようにする。 ・遊具の扱い方や、片付け方を繰り返し知らせていく。 ・進級をきっかけに意欲的に活動ができるように援助していく。 ・友達との関係が深まるよう、見守ったり、一緒に遊んだりする。 ・子ども自身が分かるような表示をつけたり、子どもの動線を考えた配置にしたり、部屋の環境設定を工夫する。 ・自分の考えや思いなどを言葉で伝えようとする姿を見守り、安心して伝えることができるようにする。 ・友達と言葉のやり取りを楽しみ、必要に応じて保育士等が仲立ちとなる。 ・絵本や紙芝居は、落ち着いた雰囲気を読み聞かせる。 ・子どもたちの興味にあった歌や曲を取り入れていく。 ・道具の使い方を知らせ、自分で作ることを楽しめるようにする。
健康及び安全	・子どもの健康状態及び、発達発育状態を把握する。 ・手洗い、うがいを身に付ける。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。 ・生活リズムを整える。 ・けが、事故を予防する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・子どもの様子を話し合い、保護者の気持ちを受け止めながら、信頼関係を築いていく。 ・クラス懇談会等を通して、日常の保育や子どもの様子を伝えていく。	
遊び	・散歩（北24条第一公園、若草公園、ミニ大通り公園、北光緑地、メイプル公園など） ・運動遊び（リズム遊び、体操、長縄跳びなど） ・室内遊び（ままごと、積み木、ブロック、ラキュー） ・制作（クレヨンでの描画、折り紙、はさみ、のり、絵の具） ・集団遊び（鬼ごっこ、わらべうた遊び、ストップゲーム、椅子取りゲームなど）	

4 歳児 指導計画

2期(6・7・8・9月)		
年間目標	・健康、安全などの生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・相手の気持ちを考えたり自分の思いを伝えたりして、友達との関わりを深める。 ・いろいろな活動を通して自然など、身近な環境に関わり、興味をもって遊ぶ。	
子どもの姿	・気の合う友達と、好きな遊びを楽しむ。 ・思いが通じず、トラブルになることもあるが保育士に見守られながら、少しずつ自分たちで話し合い解決しようとする。 ・戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。	
ねらい		行事
・身の回りの準備や片付けなど、丁寧に行うことの大切さを知る。 ・自分の思いを伝える中で、相手の気持ちに気づき、考えようとする。 ・友達と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。		・小遠足 ・交通安全教室 ・あきまつり ・運動会 ・七夕 ・バス遠足
養護 ・ 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・活動と休息のバランスに配慮し、水分の補給を促し、子どもの体調の変化にすみやかに対応できるようにする。 ・保育士等との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるようにする。 ・食事、排泄、着脱など身の回りのことを自分でする。 ・食具の正しい使い方や食事のマナーを覚える。 ・正しい手洗い、うがいをする。 ・いろいろな運動遊びを楽しむ。 ・簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・保育士等や友達との関わりを通して、相手の気持ちに気付く。 ・夏の遊びを十分に楽しむ。 ・草花、虫などの夏の自然に触れたり、見たりして興味をもつ。 ・野菜の生長に興味をもち、収穫を楽しむにする。 ・経験したこと、興味、関心があることを、保育士等や友達に喜んで話す。 ・絵本や紙芝居、図鑑などに親しみ、見たり聞いたりして楽しむ。 ・歌を歌ったり、リズムに合わせて踊ったりして、表現することを楽しむ。 ・いろいろな素材や用具を使った季節の制作を楽しむ。	・一人一人の健康状態や天候に合わせて、遊びを工夫していく。 ・一人一人の要求を受け止め、共感しながら信頼関係を築いていく。 ・身の回りのことを意欲的に取り組めるように関わるとともに見守りながら必要に応じて援助する。 ・食具の正しい使い方や食器の置き方等、食事のマナーを理解できるよう工夫して知らせ、繰り返し伝えていく。 ・手洗いうがいを自分で気が付いて行えるような声がけをする。 ・運動遊びに安全に取り組むための体の使い方や遊具、用具の使い方を知らせていく。 ・運動遊びを楽しみながら取り組み、意欲や達成感に繋がるよう働きかけていく。 ・ルールをわかりやすく知らせ、ルールを守ることで友達と一緒に楽しく遊べるように関わる。 ・相手の気持ちに気付けるように必要に応じて仲立ちをしていく。 ・友達と一緒に十分水遊びが出来るよう環境を整えとともに、水遊びの約束事を知らせ、安全で楽しく遊べるようにする。 ・戸外で探索する機会をつくり、自然に興味をもてるようにする。 ・畑の水やりや収穫を通して野菜に興味、関心をもてるよう働きかける。 ・子ども同士で話し合う機会やみんなの前で話す機会を多くし、話すこと、聞くことが楽しめる場を設けていく。 ・子どもの気付きや感動に共感し、疑問に思ったことは一緒に考えたり調べたりして、興味、関心をもてるようにする。 ・子どもたちの興味にあった歌や曲を取り入れ、楽しさを共有できるようにする。 ・子どもたちが意欲的に制作に取り組めるようにいろいろな素材や用具を用意しておく。
健康及び安全	・気候の変化に留意し、子どもの健康状態及び発達状態を把握する。 ・皮膚の状態を観察し、感染症に注意する。(とびひ、水いぼなど) ・けが、事故を予防する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連絡を密にする。 ・懇談やクラス便りなどを通して、日常の保育や子どもの様子を伝えていく。	
遊び	・散歩(若草公園、白樺公園、たものき公園、北光緑地公園など) ・水遊び ・運動遊び(リズム遊び、かけっこ、リレー、長縄跳び、跳び箱、鉄棒) ・室内遊び(ままごと、ブロック、ラキュー) ・制作(クレヨンでの描画、折り紙、はさみ、のり、絵の具) ・集団遊び(鬼ごっこ、わらべうた遊び、ストップゲーム、椅子取りゲームなど)	

4歳児 指導計画

3期(10・11・12月)

年間目標	・健康、安全などの生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・相手の気持ちを考えたり自分の思いを伝えたりして、友達との関わりを深める。 ・いろいろな活動を通して自然など、身近な環境に関わり、興味をもって遊ぶ。	
子どもの姿	・ルールのある遊びや、運動遊びなど様々な遊びを集団で楽しむことができる。 ・友達との関わりの中でトラブルも見られるが、クラス活動の積み重ねから関りが深まってきている。	
ねらい		行事
・季節の変化や体調に気を付けながら、身の回りのことに丁寧に取り組む。 ・思いを伝え合いながら友達との関わりを深め、共通の目的をもって、活動することを楽しむ。 ・身近な自然に触れて遊び、興味や関心をもつ。		・総合避難訓練 ・収穫祭 ・生活発表会 ・クリスマス会
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・朝夕の気温の変化に応じて、衣服の調整や室温、換気に留意し、快適に生活できるようにする。 ・子ども同士の遊びを豊かにし、友達との関係の中で自分を発揮できるようにする。 ・寒暖の差に気付き、健康な生活に必要な生活習慣を身に付ける。 ・食具を正しく使い、食事のマナーを守ろうとする。 ・いろいろな運動遊びを楽しむ。 ・集団遊びやルールのある遊びを楽しみ、決まりを守って遊ぶようにする。 ・友達と一緒に遊んだり、活動したりする中で、ともに過ごす楽しさを味わう。 ・友達と一緒に共通の目的をもって活動し、友達とのつながりを深める。 ・散歩に出かけたり、落ち葉や木の実などを見たり拾ったりして、自然に興味や関心をもって遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、文字、数、量、形などに関心をもつ。 ・自分の経験したことや考えたことを言葉で伝え、保育士等や友達の話を中心して聞こうとする。 ・絵本や紙芝居などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ・いろいろな活動を通して表現することを楽しむ。 ・いろいろな素材を使った制作や造形遊びを楽しむ。	・一人一人の健康状態を把握し、適切に対応できるようにする。 ・遊びや友達との関わりの中で、一人一人がのびのびと自分を発揮できるように、遊びを展開していく。 ・正しい手洗い、うがいの仕方が身につくように繰り返し働きかける。 ・排便後の始末は、一人一人の状況を把握し、必要に応じて関わっていく。 ・食具の使い方や食事のマナーを意識できるように関わる。 ・運動遊びを楽しみながら取り組み、意欲や達成感に繋がるよう働きかけていく。 ・ルールをわかりやすく伝え、友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・十分に自己を発揮できるように、子ども同士のやり取りを見守り、必要に応じて仲立ちをする。 ・友達と協力しながら活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びが味わえるようにする。 ・園外に出かけ、自然に触れる経験を通して、子どもが自然との関わりを深められるようにする。 ・文字、数、量、形など遊びの中で触れる機会をつくり、興味、関心がもてるようにする。 ・保育士等との話や子ども同士で話す機会を多くし、その中で、話すこと聞くことが楽しめるようにする。 ・子どもの興味や関心のある絵本や紙芝居を読み聞かせるようにする。 ・子どものイメージを大切に、表現活動につなげる。 ・子どもたちが、遊びを広げていくために必要な素材などを準備し、楽しめるようにしていく。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・身体測定(10月) ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、うがい、室内の換気を行い乾燥に注意する。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・発表会などへの子どもたちの取組を伝え、ともに成長を喜ぶ。 ・懇談やクラス便りなどを通して、日常の保育や子どもの様子を伝えていく。	
遊び	・散歩(若草公園、メイプル公園、白樺公園、たものき公園、大学村の森公園など) ・運動遊び(リズム遊び、長縄跳び、短縄跳び、跳び箱、鉄棒など) ・室内遊び(ごっこ遊び、ブロック、カードゲーム、ラキュー) ・制作(クレヨンでの描画、折り紙、はさみ、のり、絵の具) ・集団遊び(鬼ごっこ、わらべうた遊び、転がしドッジボールなど)	

4歳児 指導計画

4期(1・2・3月)

年間目標	・健康、安全などの生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・相手の気持ちを考えたり自分の思いを伝えたりして、友達との関わりを深める。 ・いろいろな活動を通して自然など、身近な環境に関わり、興味をもって遊ぶ。	
子どもの姿	・集団で遊ぶ楽しさが分かり、クラス活動や集団遊びなど、様々な活動に意欲的に参加する。 ・仲間意識が深まり、友達と一緒に遊ぶ中で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりしようとする。	
ねらい		行事
・冬の健康な生活を心がけ、基本的な習慣や態度をきちんと身に付ける。 ・いろいろな活動に興味をもち、友達と協力して意欲的に取り組む。 ・成長したことを喜び、進級することへの期待をもつ。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・卒園お祝い会 ・ありがとうの会 ・進級の日
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・子どもの健康状態を把握し、健康に過ごすことができるようにする。 ・一人一人の成長を認め、自己を十分に発揮しながら生活できるようにする。 ・冬の生活に大切な生活習慣を身に付ける。 ・箸の使い方を知る。 ・正しい箸の使い方を知り、マナーを守って食事をする。 ・排便の後始末を自分でしようとする。 ・午睡時の着脱では風呂敷を使用する。 ・十分体を動かして冬の遊びを楽しむ。 ・冬の自然に関心をもち、遊びに取り入れ楽しむ。 ・友達と生活する中で、決まりの大切さに気付き、守ろうとする。 ・友達と互いの良さを認め合いながら、関わりを深める。 ・いろいろな運動遊びに取り組み、全身を動かして遊ぶ。 ・ルールを守って、みんなで集団遊びを楽しむ。 ・生活や遊びの中で文字や数や量、形、色に興味、関心をもつ。 ・自分で考えたことや経験したことを保育士等や友達に話し、伝え合う。 ・絵本や紙芝居、お話などに親しみ、イメージをふくらませて楽しむ。 ・進級することに期待をもちながら、いろいろな活動に取り組む。 ・イメージしたものを描いたり、作ったりして、表現して遊ぶ。	・一人一人の健康状態を把握し、適切に対応できるようにする。 ・成長の姿をとらえ、認め、励まし、自信をもって生活できるよう関わっていく。 ・健康に過ごすための生活習慣が身につくように働きかける。 ・栄養士と連携して正しい箸の使い方や食事のマナーを知らせる。 ・食器の並べ方や正しい姿勢など、食事のマナーを意識できるように働きかける。 ・楽しく食事をする中で、身近な食材に興味、関心をもてるよう働きかける。 ・排便後の始末は、一人一人の状況を把握し、必要に応じて関わっていく。 ・風呂敷の結び方を知らせ、進んで身支度に取り掛かれるようにする。 ・公園に出かけ、広々とした空間で雪遊びを十分に楽しめるようにする。 ・雪遊びやいろいろな季節の行事に触れることで、興味や関心をもって活動に参加できるようにする。 ・遊びや生活の中で大切にしたいことは、クラスで話し合ったり、確認したりして気付き合えるようにする。 ・子どもたちの頑張りや成長に声を掛け、友達同士、互いの良さを認め合えるように働きかける。 ・運動遊びを楽しみながら取り組み、意欲や達成感に繋がるよう働きかけていく。 ・気持ちを伝え合いながら、集団遊びを楽しめるようにしていく。 ・生活や遊びの中で言葉遊びや数を数えるなど興味、関心があるような活動を取り入れる。 ・保育士等との話や子ども同士で話す機会を多くし、その中で聞くこと話すことが楽しめるようにする。 ・子どもの興味・関心に合わせた絵本を取り入れたり、続きのある話を読み、次の話に期待をもてるようにしたりする。 ・大きくなったことを互いに認め合い、年長児になることに期待をもてるように関わる。 ・子どもたちが、遊びを広げていくために必要な素材などを準備する。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・身体測定(2月) ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、室内の換気を行い乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し、対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・家庭との話し合いの中で、進級に向けた意識付けや、子どもの成長を伝え、実感し、ともに喜ぶ。 ・箸の使用について、家での様子を確認しながら家庭でも少しずつ自分で行えるように関わってもらう。	
遊び	・散歩(若草公園、北 24 条第一公園など) ・雪遊び ・運動遊び(長縄跳び、短縄跳び、鉄棒、跳び箱、マット運動、リズム遊びなど) ・室内遊び(ごっこ遊び、すごろく、カードゲーム、コマ回し) ・制作(廃材制作、造形遊び、折り紙、はさみ、のり、絵の具など) ・集団遊び(ドッジボール、鬼ごっこ、わらべうた遊びなど)	

5 歳児 指導計画

1 期（4・5 月）		
年間目標	・基本的な生活習慣や態度が身に付き、自分の健康に関心をもち安全で快適に生活する。 ・いろいろな活動を通して、意欲や自信をもって行動したり、友達と協力したりする。 ・自然や社会事象、文字などに興味、関心をもち、探究心や思考力を高める。	
子どもの姿	・基本的な生活習慣が分かり、身の回りのことは自分でできる。 ・友達と関わりながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・運動遊びで体を動かすことを楽しむ。 ・年長になったことを喜び、活動に期待をもつ反面、不安もみられる。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れ保育士等や友達と好きな遊びを楽しみ安定した生活ができる。 ・年長になった事を喜び、意欲的に行動しようとする。 ・春の自然に親しみ、戸外活動を楽しむ。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診 ・保育参加
養護	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人が、安全で快適に生活できるようにする。 ・一人一人の子どもと信頼関係を築き、自分の気持ちを表せるようにする。 ・自分の体や健康な生活リズムに関心をもち。 ・楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をする。 ・正しい箸の使い方を知り、マナーを守って食事をする。 ・戸外で十分に体を動かして遊ぶ。 ・春の自然に関心をもち、見たり触れたりしながら遊ぶ。 ・危険な行為や場所が分かり、安全に気を付けて行動する。 ・年長になった事を喜び、年下の子と関わったり、年長クラスの活動に意欲的に取り組んだりする。 ・保育士等や友達と親しみ、好きな遊びや集団遊びを楽しむ。 ・畑作りや世話を通して、身近な植物や野菜に興味や関心をもち。 ・遊具や用具の安全な使い方が分かる。 ・自分の持ち物や遊具、用具の片付けや整理をする。 ・当番活動を通し、生活の中の役割を分担する。 ・保育士等や友達の話最後まで聞いたり、自分で考えたことや経験したことを話したりする。 ・絵本、紙芝居などを見たり聞いたりし、イメージを広げ楽しむ。 ・歌を歌ったり、体を動かしたりすることを楽しむ。 ・感じたことや考えたことを絵に描くなど自由に表現する。	・一人一人の健康状態を把握し、必要に応じて関わっていく。 ・年長になった喜びや不安を一人一人十分に受けとめ、信頼関係を築いていく。 ・生活リズムの大切さに子ども自身が気付いて理解できるよう援助する。 ・楽しく食事をする中で、マナーを知らせたり自分で気付けるような言葉がけをしたりする。 ・戸外で体を動かす活動を積極的に取り入れたり、散歩の経験を通して、体力づくりをしたりしていく。 ・天候や体調に配慮しながら、春の自然に関心をもてるよう働きかける。 ・安全に遊ぶための決まりを意識して守れるように伝えるとともに、子ども自身が気付いたり考えたりできるよう関わる。 ・年長クラスの取組の様子を保護者や園全体に紹介し、褒められたり認められたりする機会を設ける。 ・年長児として頑張る姿を認めながら、自信につながるよう関わる。 ・集団遊びやルールのある遊びなど、友達と関わりながら遊ぶ活動を取り入れ、仲間意識を育てる。 ・畑づくりや水やりを通し、野菜や植物に興味、関心をもてるよう働きかける。 ・安全な扱い方をその都度丁寧に知らせる。 ・自分の持ち物や、遊具、用具を大切に扱うことを知らせる。 ・当番の役割を経験する中で、その大切さについて知らせていく。 ・保育士等や友達の話聞く場面を継続して取り入れながら、話を聞くことや、自分の思いを言葉で表現することの大切さを知らせていく。 ・発達や興味に応じた絵本を読み聞かせ、聞く力を育て、想像する楽しさを味わえるようにする。 ・絵を描いたり、歌を歌ったりする活動を通して、表現する楽しさを味わえるようにしていく。
健康及び安全		・子どもの健康状態及び、発達発育状態を把握する。 ・生活リズムを整える。 ・手洗い、うがいの習慣を身に付ける。 ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。
地域との連携		・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。
家庭との連携		・子どもの様子を伝え合い、保護者の気持ちを受け止めながら、信頼関係を築いていく。
遊び		・散歩(若草公園、メイプル公園、緑地公園、しらかば公園、エルムの森公園) ・運動遊び(リズム、ストップゲーム、鉄棒、縄跳び) ・室内遊び(ままごと、ラキュー、ブロックなど) ・制作 (のり、はさみを使った制作、描画) ・集団遊び(鬼ごっこ、わらべうた遊びなど)

5 歳児 指導計画

2 期（6・7・8・9 月）

2 期（6・7・8・9月）		
年間目標	・基本的な生活習慣や態度が身に付き、自分の健康に関心をもち安全で快適に生活する。 ・いろいろな活動を通して、意欲や自信をもって行動したり、友達と協調したりする。 ・自然や社会事象、文字などに興味、関心をもち、探究心や思考力を高める。	
子どもの姿	・いろいろな運動遊びを楽しむ。 ・友達と協力してひとつのことに取り組む。 ・友達と遊ぶ中で、自分の思いを伝えたり相手の話を聞いたりする。	
ねらい		行事
・体を動かす遊びに意欲的に取り組む。 ・友達との関わりを深め、共通の目的をもって活動を進める。 ・夏の自然に親しみ、友達と一緒に遊びを工夫し、十分楽しむ。		・運動会 ・七夕 ・バス遠足 ・交通安全教室 ・小遠足 ・あきまつり
養護 <		

5 歳児 指導計画

3 期（10・11・12月）

年間目標	・基本的な生活習慣や態度が身に付き、自分の健康に関心をもち安全で快適に生活する。 ・いろいろな活動を通して、意欲や自信をもって行動したり、友達と協調したりする。 ・自然や社会事象、文字などに興味、関心をもち、探究心や思考力を高める。	
子どもの姿	・友達と協力して、ひとつのことに意欲的に取り組む。 ・自分の思いを話すだけでなく、相手の意見も受け入れようとする。	
ねらい		行事
・いろいろな活動を通し、友達とのつながりを深め、意欲的に取り組む。 ・集団の中で共通の目的を持ち、友達と協力して遊ぶ楽しさを味わう。 ・秋から冬の自然や身近な社会事象に触れ、興味や関心をもち、探究心や思考力を高める。		・総合避難訓練 ・収穫祭 ・生活発表会 ・クリスマス会 ・クラス懇談会
養護	内 容	環境構成及び援助
	・朝夕の気温の変化に応じて、室温や換気に配慮し、快適に生活ができるようにする。 ・保育士等や友達との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動できるようにする。 ・自分の体や健康な生活リズムに関心をもち、必要な生活習慣を身に付け進んで行く。 ・衣類の調節を自分で行き、快適に過ごす。 ・食材に関心をもち、偏食せずに食べることの大切さが分かり、意欲的に食事をする。 ・散歩に出掛けたり、意欲的に体を動かしたりして、友達と一緒に活動することを楽しむ。 ・異年齢の友達に思いやりの気持ちをもって、関わろうとする。 ・友達と話し合い役割を分担したり、協力したりしながら活動に取り組む。 ・友達とのやり取りの中で、自分の思いを伝え、相手の気持ちを分かろうとする。 ・季節の変化に気付き、自然に興味や関心をもちたり、自然物で遊んだりする。 ・文字、数、量、形、時間などを生活や遊びの中に取り入れ遊ぶ。 ・園外活動を通して地域と交流し、公共のマナーを守って行動する。 ・自分の持ち物や共有の用具の管理や整理をする。 ・友達と共通のことを話し合うなかで、考えたことや思いを伝えたり相手の話を聞いたりする。 ・絵本や紙芝居などを聞いて、イメージを膨らませ表現したり言葉のやり取りの面白さに興味をもちたりする。 ・友達と一緒に歌ったり演じたりして、表現することを楽しむ。 ・音楽に親しみ、友達と一緒に歌うことや、演奏することを楽しむ。 ・感じたことや考えたことをいろいろな素材や用具を使い、自由に表現する。	・一人一人の健康状態を把握し、必要に応じて関わっていく。 ・子どもの活動を見守りながら、必要に応じて励ましや助言をし、環境を構成していく。 ・健康に過ごすための習慣が身に付き、一人一人が自立できているか確認する。 ・献立や食材について、健康との関係などを知らせ、関心をもちながら意欲的に食事が出来るようにする。 ・体力に応じて遠くの公園に出かけたり、集団遊びのルールを発展させたりして、積極的に体を動かせるようにする。 ・当番活動や異年齢の友達と関わる中で、相手への思いやりの気持ちを育てていく。 ・一人一人が意欲的に取り組んだり、友達と協力したりできるように働きかけ、充実感が味わえるようにしていく。 ・子ども同士のやり取りを見守りながら必要に合わせて援助する。 ・身近な自然に触れ親しむ機会をもち、一緒に観察したり自然物を使って制作を楽しんだりしながら興味、関心を育てていく。 ・生活や遊びの中で文字や数字等を取り入れ、関心がもてるようにする。 ・園外活動の中で、公共のマナーに触れる機会をつくり、考えて行動できるよう働きかける。 ・共有の遊具や用具を大切に扱うことや、正しい使い方が身に付くように関わる。 ・自分の意見を発表する場を作り、相手の話を聞く大切さにも気付けるように関わる。 ・発達や興味に応じた絵本の読み聞かせの機会を継続してもち、聞く力を育て、想像する楽しさを味わえるようにする。 ・友達と一緒に考え、思いついたことを演じたり、踊ったりして、友達と表現することを楽しめるようにする。 ・楽器に触れる活動の中で音色やリズムの楽しさを味わい、みんなで演奏する機会をつくっていく。 ・いろいろな素材、用具を用意し、制作を楽しむことができる環境を整える。
健康及び安全	・気候の変化に留意し、子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗いを促し、室内の換気を行い乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・身体測定を行う（10月）	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。 ・地域や小学校の行事に参加し、親しみをもつ。 ・地域の図書館を利用する。	
家庭との連携	・様々な活動を通して、子どもの姿を保護者に伝え、成長を喜び合うとともに、就学に向けての話もしていく。 ・地域や小学校の行事に参加し、親しみをもつ。 ・地域の図書館を利用する。	
遊び	・散歩（みかほ公園、緑地公園、しらかば公園、大学村の森公園など） ・運動遊び（リズム、縄跳び、鉄棒、跳び箱など） ・室内遊び（ままごと、ラキュー、ブロック、ビーズ、カプラなど） ・制作（はさみを使った制作、描画、絵の具） ・集団遊び（助け鬼、ドッジボール、わらべうた遊びなど）	

5 歳児 指導計画

4 期（1・2・3 月）

年間目標	・基本的な生活習慣や態度が身に付き、自分の健康に関心をもち安全で快適に生活する。 ・いろいろな活動を通して、意欲や自信をもって行動したり、友達と協調したりする。 ・自然や社会事象、文字などに興味、関心をもち、探究心や思考力を高める。	
子どもの姿	・仲間意識が強まり、友達と考えを出し合ったり、工夫したりして遊びを発展させようとする。 ・就学に向けて期待をもつが、新しい環境への不安を感じる子もいる。	
ねらい		行事
・自分の成長を喜び、就学への期待をもち、自信をもって行動する。 ・共通の目的をもち、友達と協力して積極的にいろいろな活動に取り組む。 ・冬の自然や社会事象に関心をもちて遊ぶ。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・ありがとうの会 ・卒園祝い会 ・進級の日
養護	内 容	環境構成及び援助
	・保育士等や友達との信頼関係の中で自分の気持ちを表し、自信をもつことができるように働きかける。 ・自分の体や健康な生活リズムに関心をもち、必要な生活習慣を身に付け、進んで行く。 ・食材や調理する人への感謝の気持ちをもち、友達と一緒に楽しく食べる。 ・冬の健康な生活習慣を身に付け、進んで行く。 ・積極的に体を動かして雪遊びを楽しむ。 ・雪遊びの危険な場所や行為が分かり、安全に気を付けて遊ぶ。 ・異年齢の友達に思いやりの気持ちをもち、関わりを深める。 ・友達と一緒に卒園や就学に向けての活動を楽しみ、新しい生活への期待をもつとともに、共通の目的に向かい、友達と協力して取り組む。 ・友達とルールのある遊びを発展させながら遊ぶ。 ・冬の自然や社会事象に関心をもち、生活や遊びに取り入れる。 ・文字、数、量、形、時間、標識などに関心をもち、生活や遊びの中に取り入れて遊ぶ。 ・園外活動を通して、地域と交流し、公共のマナーを守って行動する。 ・自分の持ち物や共有の遊具の管理や整理をする。 ・友達と共通のことを話し合なかで、考えたことや思いを伝えたり相手の話を聞いたりする。 ・絵本や紙芝居などを聞いて、イメージを膨らませ表現したり言葉のやり取りの面白さを楽しんだりする。 ・音楽に親しみ、友達と一緒に歌ったり楽器に触れたりして楽しむ。 ・感じたことや考えたことをいろいろな素材や用具を使い、自由に表現する。	・就学前の期待や不安な気持ちを受け止め、安心して過ごしなが、意欲や自信がもてるようにしていく。 ・子どもの体調等をみながら、昼寝をせずに過ごしていくが、生活のリズムが変わるため、適切に対応していく。 ・食育指導等を通して、調理する人への感謝の気持ちをもち、美味しく食べられるように働きかける。 ・健康に過ごすための生活習慣が身につくように働きかける。 ・積極的に戸外遊びを取り入れ、室内外で十分に体を動かして遊べるようにする。 ・雪遊びをする前に雪質等を見て、危険な場所や行為を確認してから遊ぶようにする。 ・生活の中で、思いやりをもって友達と関わる様子を認めていく。 ・卒園に向けての活動の中で一人一人が役割をもって意欲的に取り組んだり、友達と協力したりすることが楽しめるよう働きかけていく。 ・友達と遊んでいる中でルールを確認したり、変化させたりすることで遊びが発展する楽しさを味わえるようにする。 ・冬の自然に触れ、友達と一緒に興味や関心をもち、楽しめるようにしていく。 ・生活や遊びの中に文字や数字等を取り入れ、関心がもてるようにする。 ・公共のマナーについて伝え、自ら考えて行動できるよう働きかける。 ・物の管理や整理の大切さに気付き、自ら進んで行えるよう働きかけていく。 ・保育園生活を振り返り、自分の成長を実感したり、相手を認め合ったりできるような場面をつくっていく。 ・発達や興味に応じた絵本の読み聞かせの機会を継続してもち、聞く力を育て、想像する楽しさを味わえるようにする。 ・楽器に触れる機会を活動の中でつくり、音色やリズムの楽しさを味わえるようにしていく。 ・いろいろな素材、用具を用意し、制作を楽しめるよう環境を整える。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。 ・冬季に多い感染症の発生を予防するため、手洗い、室内の換気を行い、乾燥に注意する。 ・身体測定を行う(2月)	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。 ・児童会館などの公共施設を利用する中で、就学への期待をもつ。 ・地域の図書館等を利用する。	
家庭との連携	・昼寝をしないことでの生活リズムの影響を確認しながら子どもの体調を整えていく。 ・生活習慣や生活リズムの見直しなど、就学に向けて話し合っていく。 ・入学への不安や小学校の様子、就学までの準備について丁寧に対応していく。	
遊び	・雪遊び(園庭、北24条第一公園、若草公園) ・運動遊び(リズム、縄跳び、跳び箱など) ・室内遊び(ラキュー、ビーズ、編み物、すごろく、かるた、トランプ、こまなど) ・制作(描画、絵の具、廃品制作、卒園制作) ・集団遊び(鬼ごっこ、ドッジボール、わらべうた遊び)	

異年齢 指導計画

1期(4・5月)		
年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちを持つ。 ・いろいろな活動に興味をもって取り組む。	
子どもの姿	・進級したことに喜びを感じ、新しい生活に期待もあるが、慣れない環境の中で不安を感じる子もいる。 ・好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ・年齢クラスの子と一緒に遊ぶことが多い。	
ねらい		行事
・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・友達や保育士等と一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・春の自然に触れながら戸外を楽しむ。		・お楽しみ会 ・クラス懇談会 ・歯科健診
養護 教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)	内 容	環境構成及び援助
	・一人一人の子どもの体調の変化に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・新しい環境に慣れ、安心して過ごせるようにする。 ・生活の流れを知り、見通しを持って生活する。 ・友達や保育士等に親しみをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・室内や、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・近隣の公園に散歩に行く。 ・挨拶や言葉のやり取りを通して友達との関わりを楽しむ。 ・自分のしたいことや、してほしいことを言葉で表す。 ・絵本や紙芝居を見る。 ・歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しむ。	・一人一人の子どもの発育、状態を把握し、体調の変化に気付いたときは適切な対応ができるようにする。 ・保育士等との信頼関係を築き、一人一人の気持ちや要求を受け入れ、安心して生活ができるようにする。 ・一人一人の発達段階に合わせ、必要に応じて援助をする。 ・子どもが興味に合わせた遊びを設定し、好きな遊びを楽しめるようにする。 ・保育士等が子ども同士の仲立ちとなり、楽しく遊べるようにする。 ・異年齢で体を動かして楽しめるよう活動を工夫する。 ・園舎内外の危険な場所や危険な行為を知らせ、一人一人が安全に対する意識をもてるように関わっていく。 ・異年齢同士で手をつなぎ、年上の子がリードして歩けるように働きかける。 ・言葉のやり取りを楽しむ姿を見守り、仲立ちとなって関わり方を知らせていく。 ・自分の思いや考えを安心して言葉で表せるよう、子どもの声に耳を傾ける。 ・みんなで一緒に絵本や紙芝居を見て楽しめる機会をつくっていく。 ・保育士等や異年齢の友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする楽しさを味わえるようにしていく。
健康及び安全	・子どもの健康状態及び、発達発育状態を把握する。 ・手洗い、うがいの習慣を身に付ける。 ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子と交流する。 ・散歩や戸外活動などを通して地域の方と交流する。	
家庭との連携	・子どもの様子を伝えあい、保護者の気持ちを受け止めながら、信頼関係を築いていく。 ・異年齢活動のねらいや内容について、わかりやすく伝えていく。	
遊び	・散歩(北24条第一公園、若草公園) ・運動遊び(かけっこ、ボール、体操など) ・室内遊び(ブロック、ままごと、描画など) ・制作(描画など) ・集団遊び(ストップゲームなど)	

異年齢児 指導計画

2期(6・7・8・9月)

年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちを持つ。 ・いろいろな活動に興味をもって取り組む。	
子どもの姿	・異年齢活動が始まり、楽しみにする子がいるが、不安を抱く子もいる。 ・好きな遊びを見つけ、友達や保育士等と楽しむ。 ・戸外で体を動かすことを楽しむ。	
ねらい		行事
・身近な自然や季節の遊びに親しむとともに、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・好きな遊びを見つけ、異年齢の友達と触れ合いながら、楽しく遊ぶ。		・運動会 ・小遠足 ・七夕 ・あきまつり ・交通安全教室
養護	内 容	環境構成及び援助
	・ 一人一人の健康に配慮しながら快適に生活ができるようにする。 ・ 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、信頼関係を築けるようにする。 ・ 生活の流れを知り、見通しを持って生活する。 ・ 異年齢の友達に親しみをもち、一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・ 簡単なルールのある遊びや集団遊びを楽しむ。 ・ 夏の遊びを楽しんだり、草花、虫などの身近な自然物に親しんだりする。 ・ 交通ルールを守って、散歩を楽しむ。 ・ 生活や遊びの中で、友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・ 絵本や紙芝居を通していろいろな話を楽しむ。 ・ 歌や踊りを通して、表現することを楽しむ。 ・ いろいろな素材や用具を使って、簡単な制作を楽しむ。	・ 気温、室温など状況に合わせて水分補給や衣類の調節を促したり、活動内容を工夫したりし、快適に過ごせるようにする。 ・ 一人一人の気持ちや要求を受け入れて、保育士等との信頼関係の中で、安心して生活ができるようにする。 ・ 必要に応じて援助しながら自分でできることを認め、意欲的に取り組めるようにしていく。 ・ 子ども同士で助け合えるよう保育士等が仲立ちとなる。 ・ 異年齢の友達に、親しみをもちて関わり、一緒に過ごす心地良さを味わえるようにする。 ・ 簡単なルールのある遊びや集団遊びを通して、異年齢の関わりを深められるようにする。 ・ 共通の目的をもった活動を取り入れ、異年齢で協力して遊ぶ楽しさを経験できるようにする。 ・ いろいろな水遊びができる環境を整えたり、身近な自然物に興味をもてるような機会を作ったりしていく。 ・ 全体で交通ルールを確認する機会を設けるとともに、年上の子がリードして歩けるように働きかける。 ・ 必要に応じて保育士等が仲立ちとなり、お互いの話に興味をもちながら言葉のやり取りを楽しめるよう配慮する。 ・ 異年齢の友達と楽しめるような絵本や紙芝居を用意し、読み聞かせをする。子どもが興味をもって楽しめるものを取り入れる。 ・ 保育士等や異年齢の友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりしてする楽しさを味わえるようにする。 ・ いろいろな素材や用具を使って、保育士と一緒に取り組んだり、年上の子の姿を真似したりしながら楽しく制作ができるようにする。
健康及び安全	・気候の変化に留意し、子どもの健康状態及び発達状態を把握する。 ・皮膚の状態を観察し、感染症に注意する。(とびひ、水いぼなど) ・けが、事故を予防する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・グループや年齢活動の中で、楽しめるよう関わっていることを丁寧に伝えていく。 ・一人一人の健康状態、体調の変化について家庭との連絡を密にする。	
遊び	・散歩(北24条第一公園、若草公園、メイプル公園など) ・水遊び ・運動遊び(かけっこ、縄跳び、鬼ごっこなど) ・室内遊び(ブロック、ままごとなど) ・制作(描画など) ・集団遊び(ストップゲームなど)	

養護

教育(健康・人間関係・環境・言語・表現)

異年齢 指導計画

3期(10・11・12月)		
年間目標	・異年齢の友達との関わりの中で、思いやりや親しみの気持ちを持つ。 ・いろいろな活動に興味をもって取り組む。	
子どもの姿	・異年齢の友達とルールのある遊びを楽しむ。 ・季節の行事に期待をもって、制作やごっこ遊びを楽しむ。 ・友達関係や遊びに広がりが出てくる。	
ねらい		行事
・異年齢の友達と関わり合いながら仲間意識を深める。 ・散歩や戸外遊びを通し、季節の変化を楽しむ。		・総合避難訓練 ・収穫祭 ・生活発表会 ・クリスマス会
養護	内 容	環境構成及び援助
	・適度な運動と休息を取り、意欲的に生活ができるようにする。 ・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、信頼関係を深められるようにする。 ・生活の流れを覚え、身のまわりのことを自分でする。 ・異年齢の友達と一緒に食事をするを楽しむ。 ・異年齢の友達と集団遊びやルールのある遊びを楽しむ。 ・季節の移り変わりを感しながら、身近な自然に親しむ。 ・友達同士のやり取りを楽しみながら、自分の気持ちや要求を言葉で伝える。 ・絵本や紙芝居を通して想像する楽しさを味わう。 ・音楽に合わせて表現することを楽しむ。 ・いろいろな素材や用具を使って、作ったり、描いたりすることを楽しむ。	・気温の変化が大きいため、一人一人の健康状態を十分把握し、体調の変化に気付いたときは、適切な対応ができるようにする。 ・一人一人の気持ちや要求を受け止めて、保育士等との信頼関係を深め、安心して生活ができるようにする。 ・自分でできることを認め、意欲的に取り組めるよう関わる。 ・子ども同士で助け合えるよう保育士が仲立ちとなったり見守ったりする。 ・異年齢の友達と楽しく食事ができるよう職員間で動きや流れを共通理解し、しっかり環境設定を行う。 ・集団遊びやゲームなど、友達と一緒に体を動かし、協力しあえるような活動を取り入れて、仲間意識を育てていく。 ・戸外遊びを多く取り入れ、季節の変化に気付けるような言葉かけや、自然物を使った遊びを楽しめるよう活動を工夫する。 ・自分の気持ちや考えなどを言葉で伝えようとする姿を見守り、安心して伝えることができるようにする。 ・友達と遊ぶ中で、相手の気持ちに気付くことができるように関わっていく。 ・季節の話や子どもたちの興味や関心のある絵本や紙芝居を用意し、読み聞かせをする。 ・保育士等や異年齢の友達と一緒に季節の歌を歌ったり、リズム遊びをしたり、音楽に親しみ楽しめるようにする。 ・いろいろな素材や用具を用意し、一人一人の発想を大切に、意欲的に取り組めるようにする。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、うがい、室内の換気を行い乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・日々の様子や行事に向けた活動の中での姿を伝え、子どもの成長を喜び合う。	
遊び	・散歩(北24条第一公園、若草公園、メイプル公園など) ・運動遊び(かけっこ、縄跳び、鬼ごっこなど) ・室内遊び(ブロック、ままごとなど) ・制作(描画、折り紙、はさみなど) ・集団遊び(ストップゲームなど)	

異年齢 指導計画

4期(1・2・3月)		
年間目標	・異年齢の友達に関心をもち、関わりを深める。 ・いろいろな活動に興味をもって取り組む。	
子どもの姿	・戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ・グループの友達との関わりながら楽しんで遊ぶ。 ・進級することに期待と喜びをもつ。	
ねらい		行事
・冬の自然に触れ、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・異年齢の友達との関わりを深め、自信をもって積極的に活動に参加する。 ・進級、就学することに期待を持ち、意欲的に活動する。		・新年お楽しみ会 ・節分 ・ゆきまつり ・ひなまつり ・卒園お祝い会 ・ありがとうの会 ・進級の日
養護 教育（健康・人間関係・環境・言語・表現）	内 容	環境構成及び援助
	・健康的な生活ができるようにする。 ・一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を深め、自信をもって生活ができるようにする。 ・生活の流れに見通しを持ち、身の回りのことを自分でする。 ・異年齢の友達と一緒に食事をするを楽しむ。 ・異年齢の友達と活動することの楽しさを知り、友達との関わりを広げる。 ・異年齢の友達と集団遊びやルールのある遊びを楽しむ。 ・冬の遊びを楽しむ。 ・自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたり、やり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を通して想像する楽しさを味わう。 ・音楽に合わせて表現することを楽しむ。 ・いろいろな素材や用具を使って、作ったり遊んだりすることを楽しむ。	・室温の調節や換気を留意し、元気に過ごせるように環境を整えていく。 ・一人一人の子どもの気持ちを受容する中で必要に応じ、相手の気持ちを知らせたり、関わり方を伝えたりしていく。 ・自分でできている姿を認めながら、自信をもって行動できるよう関わる。 ・異年齢の友達と楽しく食事ができるよう職員間で動きや流れを共通理解し、しっかり環境設定を行う。 ・異年齢の友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しさが味わえるように工夫する。 ・グループでの仲間意識が深まるように、集団遊びやゲームなどを活動に取り入れ、みんなで楽しむ機会をつくるようにする。 ・冬の自然に触れ、楽しく安全に遊ぶことが出来るよう、環境を整えていく。 ・自分の思いを表現したり、友達の話を聞いたりすることを通して、異年齢で思いを伝え合う経験をもてるように関わる。 ・季節の話や子どもたちの興味や関心のある絵本や紙芝居を用意し、読み聞かせをする。 ・保育士等や異年齢の子どもたちと一緒に季節の歌をうたったり、リズム遊びをしたり、音楽に親しみ楽しめるようにする。 ・いろいろな素材や用具を用意し、興味をもって楽しく制作できるように援助していく。
健康及び安全	・子どもの健康状態を把握する。 ・けが、事故を予防する。 ・冬季に多い感染症を予防するため、手洗い、うがい、室内の換気を行い乾燥に注意する。 ・緊急時の避難方法や連絡方法を職員間で把握し対応できるようにする。	
地域との連携	・子育てサロンの親子やボランティアと交流する。 ・散歩時の挨拶や会話などを通して、地域の方と交流する。	
家庭との連携	・1年間の子どもの成長を認め、喜び合う。 ・発達や成長の様子を伝え合い、成長を喜ぶとともに進級への期待や喜びを分かち合う。	
遊び	・雪遊び ・運動遊び(かけっこ、縄跳び、鬼ごっこなど) ・室内遊び(ブロック、ままごと、かるた、すごろく、カードゲームなど) ・制作(描画など) ・集団遊び(ストップゲームなど)	

